

平成26年度事務事業カルテ

事業名		砂丘地園芸産地育成事業	含まれる事業数	3	所 属	農林水産 部	生産振興 課	園芸振興 G	会計区分	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計 () <input type="checkbox"/> 企業会計 ()
事業内容		<input checked="" type="checkbox"/> 有 →ビジョン [元気な産業] <input type="checkbox"/> 無 政 策 [新しい方向をひらく農林水産業]			事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 国 庫 <input checked="" type="checkbox"/> 県 単 <input type="checkbox"/> その他	<input type="checkbox"/> 実行予算 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他	事業開始年度 H25 年度 経過年数 2 年	事業終了 予定年度 H29 年度	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務

[事業目的]
 ラッキョウやミディトマト、メロンなど高品質な作物が生産される三里浜砂丘地において新規農家の参入を促し、全国に売り出す園芸品目の生産を拡大する。

[事業内容]
 1 具体的な経営プランの提案などを通じた新規就農の促進
 実施主体 三里浜砂丘地営農推進協議会 補助率 1/2
 2 新規農家を早期育成するために必要な遊休農地の優良化
 実施主体 三里浜特産農協、土地改良区 補助率 7/10
 3 高品質な作物を生産する施設の導入等
 実施主体 J A福井市、J A花咲ふくい 補助率 1/2

[予算額および指標の推移等] (単位：千円)

区 分	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	平均伸び率	目標値、指標の積算根拠等	結果分類
当初予算額の推移				47,730	157,530	230.0%		
2月現計予算額の推移				35,660	88,942	149.4%		
決算額の推移				33,094		-		
活動	農地優良化後の施設園芸団地、露地園芸拡大 (ha)			4.2	8.3	97.6%	平成32年度までに36.8ha	I
指標	新規農家参入 (人)			1	4	300.0%	平成32年度までに16人	I
成果	砂丘地における生産額 (億円)			7.7	8.1	5.2%	平成32年度までに6.4億円増加(7.2億円→13.6億円)	I
指標								

計画の達成状況 [目標名] 年度整備水準 [] / 整備目標 年度 [] = []

区 分	平成26年度予算額	事業開始後の見直し状況	特記事項
予 算 額 (単位：千円)	88,942		
財源内訳	国 庫	84,862	
	その他特定財源		
	一 般 財 源	4,080	

[事業の評価]

所属の方針	[活動指標、成果指標に対する評価] 平成26年度は三里浜砂丘地営農推進協議会において農地情報管理や就農相談を実施した結果、4名の新規就農者と3名の就農予定者を確保することができた。また、JA等による土層改良や防風ネット、ハウス等の整備により8.3haの遊休農地を解消することができ、園芸産出額も約4千万円拡大した。 [今後の事業展開に関する考え方、見直し内容] 今後も引き続き三里浜砂丘地営農推進協議会の活動支援、ハウス等の整備支援を行い、新規就農者の確保や遊休農地解消をすすめ、本県の園芸振興を推進する。	評価に基づく今後の対応	<input type="checkbox"/> 拡 充	<input type="checkbox"/> 縮 減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し
	<input checked="" type="checkbox"/> 継 続		<input type="checkbox"/> 休 止	<input type="checkbox"/> 完 了	
	<input type="checkbox"/> 整理統合		<input type="checkbox"/> 廃 止	<input type="checkbox"/> そ の 他	
	見直し額		千 円		

平成26年度事務事業カルテ

				所 属		農林水産 部		生産振興 課		経営体育成・指導 G			
				事 業 区 分	<input type="checkbox"/> 国 庫 <input checked="" type="checkbox"/> 県 単 <input checked="" type="checkbox"/> その他		<input checked="" type="checkbox"/> 実行予算 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他		S23 年度 経過年数 67 年	事業終了 予定年度	一 年度 事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務	
事 業 名 農業技術諸費 含まれる事業数 2													
福井新々元気宣言に おける位置付け				<input type="checkbox"/> 有 →ビジョン [] <input checked="" type="checkbox"/> 無 政策 []									
[事業目的] 試験研究機関で開発された新品種および新技術を登録するほか優秀な改良普及員の確保、関係団体からの情報収集を通じ農業技術の向上を図る。													
[事業内容] (1) 特許および種苗品種登録、出願 品種【登録】 越のパールくらつきょう> 他 計18品種 特許【登録】 水溶性食物繊維としてのフルクタン [®] の製造方法 他 計8特許、1実用新案 (出願中 酵素安定化剤 他 計5特許)													
(単位：千円)													
区 分		22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	平均伸び率	目標値、指標の積算根拠等				結果分類	
当初予算額の推移		1,520	1,294	1,088	626	501	△23.3%						
2月現計予算額の推移		1,899	1,625	1,446	869	735	△20.2%						
決算額の推移		1,818	1,560	1,437	709		△24.3%						
事業効果 の推移	活動 指標	品種登録数(出願数を含む)	25	25	24	18	18	△7.3%	種苗法による登録数(出願数を含む)			IV	
	指標	特許登録数(出願数を含む)	11	13	13	14	14	6.5%	特許法による登録数(出願数を含む)			I	
	成果 指標	品種登録件数に対する許諾率	69.6%	64.0%	62.5%	78.9%	78.9%	4.0%				II	
	指標	特許登録件数に対する許諾率	45.5%	46.2%	46.2%	42.9%	42.9%	△1.9%				III	
計画の達成状況		[目標名] 年度整備水準[] / 整備目標 年度[] = []											
区 分		平成26年度予算額		事業開始後の見直し状況				特 記 事 項					
予 算 額 (単位：千円)		735						※H26年度から、食品加工研究所が出願した特許(8件)は、食料産業振興課で執行					
財源内訳	国 庫												
	その他特定財源		771										
一 般 財 源		△ 36											
[事業の評価]													
所属の 方針	[活動指標、成果指標に対する評価] 品種登録について、許諾がない品種は登録を打ち切り、登録経費を削減している。特許について、新たな特許を増やし、新たな許諾先を得るための情報収集についても的確な対応がなされている。					評 価 に 基 づ く 今 後 の 対 応	<input type="checkbox"/> 拡 充		<input type="checkbox"/> 縮 減		<input type="checkbox"/> 終期の見直し		
	[今後の事業展開に関する考え方、見直し内容] 本県農業者のために開発された新品種および新技術の知的公有財産としての保護、現場における適切かつ効率的な普及指導の維持を通じ、農業技術の向上を図ることが必要であり、今後も継続する。						<input checked="" type="checkbox"/> 継 続		<input type="checkbox"/> 休 止		<input type="checkbox"/> 完 了		
<input type="checkbox"/> 整理統合							<input type="checkbox"/> 廃 止		<input type="checkbox"/> そ の 他				
見直し額		千 円											

平成 26 年 度 事 務 事 業 カ ル テ

				所 属		農林水産 部		生産振興 課		経営体育成・指導 G			
				事 業 区 分	<input type="checkbox"/> 国 庫	<input checked="" type="checkbox"/> 実行予算	事 業 開 始 年 度	H13 年度	事 業 終 了 予 定 年 度	一 年 度	事 務 区 分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務	
					<input checked="" type="checkbox"/> 県 単	<input checked="" type="checkbox"/> 補助金		経過年数				<input type="checkbox"/> 特別会計 ()	<input type="checkbox"/> 企業会計 ()
事業名				含まれる事業数	<input type="checkbox"/> その他	<input type="checkbox"/> その他		14 年				<input type="checkbox"/> 法定受託事務	
農業経営基盤強化促進対策事業				4									
福井新々元気宣言における位置付け				<input type="checkbox"/> 有 →ビジョン [] <input checked="" type="checkbox"/> 無 政 策 []									
[事業目的]													
農業関係機関・団体で認定農業者等に対する経営診断・相談および各種経営研修等を行うのをはじめ、農業生産法人および集落営農組織の育成、遊休農地の解消、農地の利用集積等を通じ経営感覚に優れた組織の育成および農業生産基盤の強化を図る。													
[事業内容]													
農業経営基盤強化促進対策事業 ①認定農業者組織の育成を推進し、効率的な農業経営の確立を支援 ②研修会等の実施により法人化、企業経営者としての資質向上を支援													
[予算額および指標の推移等] (単位：千円)													
区 分		22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	平均伸び率	目標値、指標の積算根拠等				結果分類	
当初予算額の推移		48,212	22,687	21,411	15,820	17,809	△18.0%						
2月現計予算額の推移		81,540	22,687	21,411	15,820	17,809	△22.8%						
決算額の推移		81,451	22,650	21,330	15,820		△34.6%						
事業効果 の推移	活動	事業説明会開催回数	4	3	4	3	3	△4.2%					III
	指標	現地指導開催回数	81	122	222	235		46.2%					I
	成果	認定農業者数(法人経営体)	204	214	235	254		7.6%					I
	指標	認定農業者等の農地集積率	60.1	62.6	65.1	67.6	70.1	3.9%	平成26年度目標 認定農業者等への農地集積率 70%				II
計画の達成状況		[目標名] 認定農業者等への農地集積率 26年度整備水準〔 70.1 〕 / 整備目標 26年度〔 70.0 〕 = 〔 100.1% 〕											
区 分		平成26年度予算額		事業開始後の見直し状況				特記事項					
予 算 額 (単位：千円)		17,809											
財源内訳	国 庫												
	その他特定財源												
	一 般 財 源		17,809										
[事業の評価]													
所属の 方針	[活動指標、成果指標に対する評価] 法人化研修、個別経営診断等の各種研修の実施をはじめ農地の斡旋等により、集落営農組織や認定農業者など地域の担い手が育成されている。												
	[今後の事業展開に関する考え方、見直し内容] 農業者の高齢化、兼業化の進行に伴い、継続的な農業経営を営む認定農業者、集落営農組織等の育成および農地の集積促進による効率的な農業生産の拡大が経営基盤強化の強化を図る上で重要であることから、今後も各関係機関連携を図りながら継続する。												
	評価に基 づく今後 の対応		<input type="checkbox"/> 拡 充	<input type="checkbox"/> 縮 減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し								
			<input checked="" type="checkbox"/> 継 続	<input type="checkbox"/> 休 止	<input type="checkbox"/> 完 了								
		<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃 止	<input type="checkbox"/> そ の 他									
		見直し額		千 円									

平成 26 年 度 事 務 事 業 カ ル テ

				<input type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計 () <input type="checkbox"/> 企業会計 ()	
				所 属	農林水産 部 生産振興 課 経営体育成・指導・園芸振興 G
事 業 名	水田農業大規模化・園芸導入事業	含まれる事業数	2	事業区分	<input type="checkbox"/> 国庫 <input checked="" type="checkbox"/> 県単 <input type="checkbox"/> その他
福井新々元気宣言に おける位置付け	<input checked="" type="checkbox"/> 有 一 →ビジョン [元気な産業 <input type="checkbox"/> 無 政 策 [新しい方向をひらく農林水産業			<input type="checkbox"/> 実行予算 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他	事業開始年度 H26 年度 経過年数 1 年 事業終了予定年度
				H28 年度	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務

[事業目的]
 収益性の高い農業経営への転換を図るため、営農規模の拡大や新たに園芸経営の導入を目指す集落営農組織の育成を支援する。

[事業内容]
 1 100ha規模のメガファーム化推進
 メガファーム化研修会やステップアップ講座等の開催、先進事例調査、スペシャリスト派遣等に対する支援（事業実施主体：JA福井県中央会）（補助率：1/2）
 2 法人化を図る集落営農組織等の育成
 雇用者を確保し、10ha程度以上の経営面積の拡大、法人化を図るために必要な機械・施設等の導入に対する支援（補助率：1/3）
 3 新規集落営農組織の育成
 新規の営農組織の設立に必要な機械、施設等の導入に対する支援（補助率：1/3）
 4 園芸経営を取り入れる集落営農組織の育成
 園芸作物の栽培に必要な装備の導入に対する支援（補助率：1/3）

[予算額および指標の推移等] (単位：千円)

区 分	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	平均伸び率	目標値、指標の積算根拠等	結果分類
当初予算額の推移					200,000			
2月現計予算額の推移					180,000			
決算額の推移								
活動	事業実施主体数（規模拡大組織・新規組織）				25			
指標	事業実施主体数（園芸導入組織）				17			
成果	集落営農組織等への農地集積率（%）				70.1		平成30年度目標 集落営農組織等への農地集積率 80%	
指標	園芸生産額の増加額（億円）				0.8		平成30年度に8億円増加	

計画の達成状況 [目標名] 年度整備水準 [] / 整備目標 年度 [] = []

区 分	平成26年度予算額	事業開始後の見直し状況	特 記 事 項
予 算 額 (単位：千円)	180,000		
財源内訳			
国 庫			
その他特定財源			
一 般 財 源	180,000		

[事業の評価]

所属の 方針	[活動指標、成果指標に対する評価] 経営規模の拡大や新規に集落営農を行う営農集団等への農業機械等の整備を支援し、農業経営の法人化や雇用の確保等を通じて営農規模の拡大を促した結果、営農集団等への農地集積率の向上が図られている。また、園芸を行う集落営農組織への機械装備を支援し、園芸作付の拡大を促した結果、園芸生産額の増加が図られている。農業経営の多角化による所得確保に向け、園芸に取り組む集落営農組織等に効果的な支援を行い、園芸の生産拡大に寄与しており、生産額は8千万円拡大した。 [今後の事業展開に関する考え方、見直し内容] 収益性の高い農業経営の転換を図るため、経営規模の拡大や園芸導入を行う営農集団等への支援は必要である。今後もさらに集積を進めるために100ha規模のメガファーム化や専従者を確保して規模拡大し法人化する経営体等への支援を行うとともに、園芸経営の導入を目指す集落営農組織の育成を支援する。また、園芸を導入した集落組織等の規模拡大支援と新たな園芸導入組織の育成を継続して推進する。	評価に基 づく今後 の 対 応	<input type="checkbox"/> 拡 充	<input type="checkbox"/> 縮 減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し
	<input checked="" type="checkbox"/> 継 続		<input type="checkbox"/> 休 止	<input type="checkbox"/> 完 了	
	<input type="checkbox"/> 整理統合		<input type="checkbox"/> 廃 止	<input type="checkbox"/> そ の 他	
	見 直 し 額		千 円		

平成 26 年 度 事 務 事 業 カ ル テ

事業名		地域担い手づくり整備事業費	含まれる事業数	1	所 属	農林水産 部	生産振興 課	課	経営体育成・指導 G	会計区分	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計 () <input type="checkbox"/> 企業会計 ()
福井新々元気宣言における位置付け		<input type="checkbox"/> 有 →ビジョン [] <input checked="" type="checkbox"/> 無 政 策 []			事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 国 庫 <input type="checkbox"/> 県 単 <input type="checkbox"/> その他	<input type="checkbox"/> 実行予算 <input checked="" type="checkbox"/> 補 助 金 <input type="checkbox"/> その他	事業開始年度 H22 年度 経過年数 5 年	事業終了予定年度 H27 年度	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務	

[事業目的]
 認定農業者等の担い手の主体的な経営展開や、条件不利地域における集落営農の育成を図るために、農業用機械・施設等の導入を支援する。
 市町が担い手の規模拡大や多角化・複合化等を支援するための支援計画を策定した場合に、その計画達成に必要な共同利用施設の整備を支援する。

[事業内容]
 (融資主体型整備) 認定農業者等が融資を受けて、農業用機械等を導入する場合の自己負担分について助成する。
 (条件不利地域型整備) 経営規模が小規模・零細な地域において意欲ある経営体を育成する。
 (被災農業者支援) 重大な気象災害による農業被害を受けた経営体が、農産物の生産に必要な施設等の復旧・再建等を行う場合の経費を支援する。

[予算額および指標の推移等] (単位：千円)

区 分	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	平均伸び率	目標値、指標の積算根拠等	結果分類	
当初予算額の推移	180,000	55,000	5,250	56,485	39,000	196.3%			
2月現計予算額の推移	89,891	51,911	5,187	29,569	68,939	117.7%			
決算額の推移	87,857	51,486	5,187	25,638		87.7%			
事業効果の推移	活動指標 実施地区	25	2	1	10	18	209.5%		I
	成果指標 経営面積の拡大や経営の高度化に取り組む経営体数	29	31	32	46	65	23.8%	平成26年度末までに35経営体数を育成	I

計画の達成状況 [目標名] 年度整備水準 [] / 整備目標 年度 [] = []

区 分	平成26年度予算額	事業開始後の見直し状況	特記事項
予 算 額 (単位：千円)	68,939		
財源内訳	国 庫	68,939	22年度は、新規就農者補助、融資主体型補助、集落営農補助、共同利用施設補助の4事業を実施していたが、国の事業見直しにより、23年度以降は共同利用施設補助事業のみ県で実施することになり、それ以外は国の直接採択事業に変更された。23年度は2地区、24年度は1地区が採択である。25年度からは、融資主体型、融資主体促進増資、条件不利地域整備で間接補助となり、要件も人・農地プランと関連付けた内容となった。
	その他特定財源		
	一 般 財 源		

[事業の評価]

所属の方針	[活動指標、成果指標に対する評価] 機械等の導入を支援した結果、規模拡大や経営の高度化に取り組む経営体が育成されている。	評価に基づく今後の対応	<input type="checkbox"/> 拡 充	<input type="checkbox"/> 縮 減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し
	[今後の事業展開に関する考え方、見直し内容] 人・農地プランとの関連した事業であり、プランに位置付けられた中心経営体を育成する必要があり、また、高度な経営体を育成するため事業を継続する。		<input checked="" type="checkbox"/> 継 続	<input type="checkbox"/> 休 止	<input type="checkbox"/> 完 了
			<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃 止	<input type="checkbox"/> その他
			見直し額	千 円	

平成 26 年度 事務 事業 カ ル テ

				会計区分 <input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計 () <input type="checkbox"/> 企業会計 ()		
事業名		「福井発コシヒカリ」全国作付面積日本一30周年記念事業	含まれる事業数	2	所 属	農林水産 部 生産振興 課 福井米振興 G
福井新々元気宣言における位置付け		<input checked="" type="checkbox"/> 有 →ビジョン [元気な産業] <input type="checkbox"/> 無 政 策 [新しい方向をひらく農林水産業]		事業区分	<input type="checkbox"/> 国 庫 <input checked="" type="checkbox"/> 県 単 <input type="checkbox"/> その他	<input checked="" type="checkbox"/> 実行予算 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他
				事業開始年度	H26 年度	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務
				事業終了予定年度	H28 年度	
				経過年数	1 年	

[事業目的]
 全国のコシヒカリ作付面積が日本晴を抜いて日本一になってから30周年になったことを記念し、「コシヒカリー族サミット」、福井発「ごはん全国キャラバン」の実施を通じて、「コシヒカリを生んだ福井県」を全国に発信し、福井米の販路拡大につなげる。

[事業内容]
 1 第1回「コシヒカリー族サミット (The Summit of Koshihikari Families) の開催
 ・全国の水稲関係研究者、生産者等を集め、サミットを実施
 2 福井発「ごはん全国キャラバン」の実施
 ・広告などをラッピングしたキッチンカーで全国キャラバン
 ・炊飯器メーカーとタイアップし、各地域で米の試食イベントを実施
 ・マスコミによるニュース、メーカーのホームページ等を通じて全国へ発信

[予算額および指標の推移等] (単位：千円)

区 分	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	平均伸び率	目標値、指標の積算根拠等	結果分類
当初予算額の推移					7,149			
2月現計予算額の推移					7,149			
決算額の推移								
事業効果 の推移	活動	コシヒカリー族サミットの実施			1	平成26年度目標 1回		
	指標	ごはん全国キャラバンの実施			1	平成26年度目標 1回		
	成果	サミット参加者数			300	平成26年度目標 200人		
	指標	コシヒカリのふるさとPRイベント実施回数			51	平成26年度目標 46回		
計画の達成状況	[目標名]				年度整備水準[] / 整備目標 年度 [] = []			

区 分	平成26年度予算額	事業開始後の見直し状況	特記事項
予 算 額 (単位：千円)	7,149		
財源内訳	国 庫		
	その他特定財源		
	一 般 財 源	7,149	

[事業の評価]

所属の 方針	[活動指標、成果指標に対する評価] 「コシヒカリー族サミット」「ごはん全国キャラバン」を実施することにより、全国に「コシヒカリを生んだ福井県」をPRすることができた。	評価に基 づく今後 の 対 応	<input type="checkbox"/> 拡 充	<input checked="" type="checkbox"/> 縮 減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し
	[今後の事業展開に関する考え方、見直し内容] 「全国キャラバン」については、平成26年度限りの単年度事業だが、「コシヒカリー族サミット」については継続して「コシヒカリを生んだ自然豊かな福井県」を全国に発信していくことにより、福井米の販路拡大につなげていく。		<input type="checkbox"/> 継 続	<input type="checkbox"/> 休 止	<input type="checkbox"/> 完 了
			<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃 止	<input type="checkbox"/> そ の 他
			見 直 し 額	△ 5,957 千 円	

平成 26 年 度 事 務 事 業 カ ル テ

				<input type="checkbox"/> 国庫 <input checked="" type="checkbox"/> 県単 <input type="checkbox"/> その他		<input type="checkbox"/> 実行予算 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他		S53 年度 経過年数 37 年	事業終了 予定年度	一年度 事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計 () <input type="checkbox"/> 企業会計 ()
事業名	野菜および花き類生産価格安定事業	含まれる事業数	2	所 属	農林水産 部	生産振興 課	農業資金	G			
福井新々元気宣言に おける位置付け	<input type="checkbox"/> 有 →ビジョン [] <input checked="" type="checkbox"/> 無 政策 []			事業区分							<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務

[事業目的]
 野菜および花きの市場価格が低下した場合に補てん金を交付することで、本県野菜および花きの一層の生産振興と農家経営の安定に資する。

[事業内容]
 県内の産地から市場に共同出荷された野菜および花きの価格が、あらかじめ定められた補償基準額を下回ったときに価格補てん金を交付するための資金を造成する。
 ・指定野菜 <対象野菜>5品目(冬キャベツ、夏秋トマト、秋冬さといも、ほうれんそう、秋冬だいこん) <資金造成>県負担割合1/5、7/40
 ・特定野菜 <対象野菜>8品目(メロン、すいか、春だいこん、冬春きゅうり、夏秋なす、夏秋トマト、夏ねぎ、秋冬ねぎ) <資金造成>県負担割合1/3、1/4
 ・県単野菜 <対象野菜>21品目(国の制度(指定・特定野菜)の対象とならない産地・野菜で、いちじく、にんじん、うめ、らっきょう等) <資金造成>県負担割合1/2
 ・県単花き <対象品目>1品目(日本スイセン) <資金造成>県負担割合1/2
 事業実施主体：(一財)福井県野菜生産価格安定事業協会

[予算額および指標の推移等] (単位：千円)

区 分	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	平均伸び率	目標値、指標の積算根拠等	結果分類	
当初予算額の推移	25,277	19,015	14,678	18,492	16,107	△8.6%			
2月現計予算額の推移	32,610	0	5,969	8,404	4,706	△34.4%			
決算額の推移	32,610	0	5,969	8,404		△19.7%			
活動	交付予約数量(野菜)	12,912	13,148	12,471	11,385	10,241	△5.5%	価格補てん制度に加入した野菜の数量(単位：トン)	IV
指標	交付予約数量(花き)	2,850	2,850	2,810	2,790	2,770	△0.7%	価格補てん制度に加入した花きの数量(単位：千本)	III
成果	補てん金対象数量(野菜)	1,032	3,682	2,180	1,651		63.9%	補てん金交付の対象になった出荷数量(単位：トン)	I
指標	補てん金交付額(野菜・花き)	18,827	38,767	26,022	24,572		22.5%	生産農家に支払われた補てん金の額(単位：千円)	I

計画の達成状況 [目標名] 年度整備水準 [] / 整備目標 年度 [] = []

区 分	平成26年度予算額	事業開始後の見直し状況	特記事項
予 算 額 (単位：千円)	4,706	国で定める保証基準額は、3年毎に見直しが行われている。 23年度より保証基準額が改定されたことにより、必要造成額が減少した。 26年度の保証基準額の見直しの際、交付予約や補てん実績がない県単野菜の品目について、見直しを行った。	補てん金交付額は市場の価格変動によるものであり、当該事業の直接的な成果としての指標を設定するのは困難である。
財源内訳	4,706		
国 庫			
その他特定財源			
一 般 財 源			

[事業の評価]

所属の方針	[活動指標、成果指標に対する評価] 本事業は野菜および花き類の市場価格下落時に対応しており、園芸農家の経営安定に寄与している。	評価に基づく今後の対応	<input type="checkbox"/> 拡 充	<input type="checkbox"/> 縮 減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し
	[今後の事業展開に関する考え方、見直し内容] 県単事業については、補填金交付実績を精査し資金造成負担率を見直すなど、予算額の低減に努める。 本事業は、生産農家の経営の安定化につながり、園芸振興の推進に効果的であるため、今後も実施していく。		<input checked="" type="checkbox"/> 継 続	<input type="checkbox"/> 休 止	<input type="checkbox"/> 完 了
			<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃 止	<input type="checkbox"/> そ の 他
			見 直 し 額		千 円

平成 26 年 度 事 務 事 業 カ ル テ

事業名		フラワーブラボーコンクール事業	含まれる事業数	1	所 属	農林水産 部	生産振興 課	園芸振興 係	会計区分	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計 () <input type="checkbox"/> 企業会計 ()
福井新々元気宣言における位置付け		<input type="checkbox"/> 有 →ビジョン [] <input checked="" type="checkbox"/> 無 政 策 []			事業区分	<input type="checkbox"/> 国 庫 <input checked="" type="checkbox"/> 県 単 <input type="checkbox"/> その他	<input type="checkbox"/> 実行予算 <input type="checkbox"/> 補助金 <input checked="" type="checkbox"/> その他	事業開始年度 S42 年度 経過年数 48 年	事業終了予定年度 一 年度	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務

[事業目的]
 学校花壇コンクールを通して、豊かな情操教育と地域の環境美化を進めるため、花いっぱい運動を実施する。

[事業内容]
 事業主体：福井県、中日新聞社、愛知県、岐阜県、静岡県、三重県、滋賀県、長野県、名古屋市
 学校を対象に春と秋の年2回、花壇コンクールを実施する。
 学校花壇を通じて学校の環境美化と豊かな情操教育に寄与するとともに、その余剰苗を公共の場・地域社会などに配布し、地域社会の快適な環境づくりを推進する。

[予算額および指標の推移等] (単位：千円)

区 分	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	平均伸び率	目標値、指標の積算根拠等	結果分類
当初予算額の推移	950	850	750	750	750	△ 5.6%		
2月現計予算額の推移	950	850	750	750	750	△ 5.6%		
決算額の推移	850	750	750	750	750	△ 3.9%		
事業効果の推移	活動指標	2	2	2	2	0.0%	指標根拠：フラワーブラボーコンクール事業実績	II
	成果指標	1	1	1	1	0.0%	指標根拠：フラワーブラボーコンクール事業実績	II
	指標	38	42	38	37	△ 1.8%		III

計画の達成状況 [目標名] 年度整備水準 [] / 整備目標 年度 [] = []

区 分	平成26年度予算額	事業開始後の見直し状況	特 記 事 項
予 算 額 (単位：千円)	750	21年度、22年度と参加自治体の負担額が見直されている。27年度からは、学校花壇コンクールが秋1回に見直される。	成果指標について 当事業を実施することにより、児童・生徒が草花とふれあう機会や豊かな情操教育の場が設けられ、また余剰苗を公共の場や地域社会に配布することにより快適な環境づくりが進められる。参加校数については担当教員や花壇の有無により限られてきているが、義務教育課と連携し、なるべく多くの学校が参加できるよう促していく。
財源内訳			
国 庫			
その他特定財源			
一 般 財 源	750		

[事業の評価]

所属の方針	[活動指標、成果指標に対する評価] 余剰苗を公共の場や地域社会に配布し、地域の快適な環境作りに貢献している。花壇作りを通し、児童の農業への関心が高まる効果も期待できる。	評価に基づく今後の対応	<input type="checkbox"/> 拡 充	<input checked="" type="checkbox"/> 縮 減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し
	[今後の事業展開に関する考え方、見直し内容] 本事業が地域の環境美化と児童の情操教育に果たしてきた役割は多大であり、花壇作りの運動を今後も継続して盛り上げ、平成30年の福井国体に向けた花いっぱい運動推進に役立てていく。		<input type="checkbox"/> 継 続	<input type="checkbox"/> 休 止	<input type="checkbox"/> 完 了
			<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃 止	<input type="checkbox"/> そ の 他
			見直し額	△ 400 千 円	

平成26年度事務事業カルテ

										会計区分 <input type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計 () <input type="checkbox"/> 企業会計 ()			
				所 属		農林水産 部		生産振興 課		園芸振興 G			
事業名		日本花普及センター活動推進事業		含まれる事業数		1		事業区分		<input type="checkbox"/> 国庫 <input checked="" type="checkbox"/> 県単 <input type="checkbox"/> その他			
福井新々元気宣言に おける位置付け		<input type="checkbox"/> 有 →ビジョン [] <input checked="" type="checkbox"/> 無 政策 []						<input type="checkbox"/> 実行予算 <input type="checkbox"/> 補助金 <input checked="" type="checkbox"/> その他		事業開始年度 H3 年度 経過年数 24 年			
								事業終了 予定年度		<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務			
[事業目的]													
花の普及・定着を通じ、潤いのある豊かな社会の実現と国土緑化の推進する。													
[事業内容]													
(一財)日本花普及センターに対する負担金 事業主体：(一財)日本花普及センター(会員：47都道府県、市町村、企業、団体、個人) 活動内容：1 全国的な花きの普及促進活動 2 花きの普及、振興方策に関する調査研究と提言 3 国際交流の積極的推進 4 最新情報の収集・提供													
[予算額および指標の推移等] (単位：千円)													
区 分		22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	平均伸び率	目標値、指標の積算根拠等			結果分類		
当初予算額の推移		90	90	90	90	90	0.0%						
2月現計予算額の推移		90	90	90	90	90	0.0%						
決算額の推移		90	90	90	90	90	0.0%						
事業効果 の推移	活動 指標	ポスター枚数(枚)	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	0.0%	花き普及啓発用として配布			II	
	成果 指標	機関誌配布回数	3	3	3	3	3	0.0%	日本花普及センター活動実績			II	
	成果 指標	花き栽培面積(ha)	129	135	136	136	136	2.7%	統計・情報センター公表値			II	
計画の達成状況		[目標名]		年度整備水準[] / 整備目標				年度 [] = []					
区 分		平成26年度予算額		事業開始後の見直し状況				特記事項					
予 算 額 (単位：千円)		90		平成19年度から参加自治体の負担軽減の観点から、負担金の額が従来の10%減となった。				(一財)日本花普及センターには47都道府県が賛助会員として参加している。					
財源内訳		国 庫											
		その他特定財源											
		一 般 財 源		90									
[事業の評価]													
所属の 方針		[活動指標、成果指標に対する評価] 当事業により全国的な花きの普及活動への参加、国内外の最新情報の収集・提供、県内花き協議会の活動促進が可能となっている。 [今後の事業展開に関する考え方、見直し内容] 全国的な花きの普及促進活動を展開する「日本花普及センター」の活動趣旨に賛同し、全国的な情報を得ることは、花きの生産振興を推進するうえで重要である。				評価に基 づく今後 の対応		<input type="checkbox"/> 拡 充 <input checked="" type="checkbox"/> 継 続 <input type="checkbox"/> 整 理 統 合 <input type="checkbox"/> 見 直 し 額		<input type="checkbox"/> 縮 減 <input type="checkbox"/> 休 止 <input type="checkbox"/> 廃 止		<input type="checkbox"/> 終 期 の 見 直 し <input type="checkbox"/> 完 了 <input type="checkbox"/> そ の 他 千 円	

平成 26 年 度 事 務 事 業 カ ル テ

会計区分		<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計 () <input type="checkbox"/> 企業会計 ()										
所 属				農林水産 部		生産振興 課		園芸振興 課		G		
事業名		園芸産地総合支援事業		含まれる事業数		3		事業区分		<input type="checkbox"/> 国庫 <input checked="" type="checkbox"/> 県単 <input type="checkbox"/> その他		
福井新々元気宣言に おける位置付け		<input checked="" type="checkbox"/> 有 →ビジョン [元気な産業] <input type="checkbox"/> 無 政 策 [新しい方向をひらく農林水産業]		<input checked="" type="checkbox"/> 実行予算 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他		事業開始年度 H21 年度 経過年数 6 年		事業終了 予定年度 H29 年度		<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務		
[事業目的]												
施設園芸や加工・業務用の露地園芸の産地育成に必要な施設等整備と、共同利用施設の新設・高度化に助成し、園芸作物の生産と販路の拡大を推進する。												
[事業内容] (新規園芸産地の育成) (契約栽培産地、ネクストブランド園芸産地の育成) ※1事業主体の事業実施期間は3年間以内												
・施設園芸型 新たに施設園芸に取り組む、または産地の核となる営農集団等が規模拡大に取り組むための条件整備 ハウス等整備 補助率 1/3 ・露地園芸型 新たに加工・業務用の露地園芸を行うための条件整備 補助率 1/3 加工・業務用の生産出荷を行うための共同利用施設整備 補助率 1/3 ・露地果樹型 新たに果樹生産を行うための条件整備 補助率 1/3				・大規模な野菜生産を行う、定時に大量出荷するための条件整備 施設・機械整備 補助率 1/3 ・販売戦略づくり、栽培技術の実証等に係る経費 補助率 1/2 ・県による企業化支援事業 ビジネスプラン作成講座の開催、経営管理指導等								
[予算額および指標の推移等] (単位：千円)												
区 分		22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	平均伸び率	目標値、指標の積算根拠等			結果分類	
当初予算額の推移		210,000	225,120	118,400	119,050	112,710	△ 11.3%					
2月現計予算額の推移		196,938	200,604	117,695	115,090	106,710	△ 12.2%					
決算額の推移		195,489	201,709	115,427	111,255		△ 14.4%					
事業効果 の推移	活動指標	事業実施主体数(営農集団等)	27	23	24	27	23	△ 3.2%				Ⅲ
	指標	事業実施主体数(JA)	2	2	2	3	3	12.5%				I
	成果指標	園芸生産額(千円)	1.2	3.6	5.2	6.3	7.9	72.8%	平成26年度に7.8億円増加			I
計画の達成状況		[目標名]		年度整備水準[] / 整備目標				年度 [] = []				
区 分		平成26年度予算額		事業開始後の見直し状況				特記事項				
予 算 額 (単位：千円)		106,710		22年度より契約栽培産地の育成のためのハード・ソフト補助および県による支援事業を追加(契約栽培産地育成事業の取り込み) 24年度より事業対象者を既存産地の規模拡大に取り組むものから、新たに施設園芸や加工業務用野菜に取り組むものに変更 25年度より事業対象に産地の核となる営農集団等の規模拡大を追加、事業内容にネクストブランド園芸の育成を追加 26年度より果樹生産に対する支援として露地果樹型を追加								
財源内訳		国 庫										
		その他特定財源										
		一 般 財 源		106,710								
[事業の評価]												
所属の 方針		[活動指標、成果指標に対する評価] 新たに園芸生産に取り組む営農集団等に効果的な支援を行い、生産拡大に寄与しており、園芸産出額は1.6億円拡大した。 [今後の事業展開に関する考え方、見直し内容] 県内市場ニーズの高い品目として野菜、果樹等の生産拡大推進に加え、地産外商を進めるネクストブランド園芸産地の育成を継続して推進する。				評価に基 づく今後 の対応		<input type="checkbox"/> 拡 充 <input checked="" type="checkbox"/> 継 続 <input type="checkbox"/> 整 理 統 合 <input type="checkbox"/> 見 直 し 額		<input type="checkbox"/> 縮 減 <input type="checkbox"/> 休 止 <input type="checkbox"/> 廃 止 <input type="checkbox"/> 終 期 の 見 直 し <input type="checkbox"/> 完 了 <input type="checkbox"/> そ の 他 千 円		

平成26年度事務事業カルテ

				会計区分 <input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計 () <input type="checkbox"/> 企業会計 ()		
事業名		水田活用大規模園芸事業	含まれる事業数	1	所 属	農林水産 部 生産振興 課 園芸振興 G
福井新々元気宣言における位置付け		<input checked="" type="checkbox"/> 有 →ビジョン [元気な産業] <input type="checkbox"/> 無 政 策 [新しい方向をひらく農林水産業]		事業区分	<input type="checkbox"/> 国 庫 <input checked="" type="checkbox"/> 県 単 <input type="checkbox"/> その他	<input checked="" type="checkbox"/> 実行予算 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他
				事業開始年度	H23 年度	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務
				事業終了予定年度	H28 年度	
				経過年数	4 年	

[事業目的]
 水田を活用してキャベツやカボチャなどの露地野菜の大規模生産を行い、水稻中心であった集落営農組織等に園芸を導入し、経営体を強化する。

[事業内容]
 ・露地野菜の大規模生産実践圃の設置 5箇所/年
 ・県、農業団体、農業機械メーカーで構成される水田畑地化推進プロジェクトチームによる実践支援、他集落等への普及

[予算額および指標の推移等] (単位：千円)

区 分	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	平均伸び率	目標値、指標の積算根拠等	結果分類		
当初予算額の推移		20,400	37,975	52,735	50,512	3.0%				
2月現計予算額の推移		4,785	25,429	50,013	50,512	3.0%				
決算額の推移		2,119	22,784	49,458		2.0%				
事業効果 の推移	活動 指標	大規模経営を行う集落営農組織等の育成数		5	5	5	0	3.0%	平成25年度までに15箇所	II
	成果 指標	水田を活用した園芸産出額(億円)		0.2	0.9	1.0	1.2	3.0%	平成28年度までに1.3億円増加	II
計画の達成状況		[目標名]		年度整備水準[] / 整備目標			年度 [] = []			

区 分	平成26年度予算額	事業開始後の見直し状況	特記事項
予 算 額 (単位：千円)	50,512		
財源内訳	国 庫		
	その他特定財源		
	一 般 財 源	50,512	

[事業の評価]

所属の 方針	[活動指標、成果指標に対する評価] 15箇所水田を活用した大規模野菜生産の実践を継続し、水田畑地化プロジェクトチームで巡回指導や排水対策研修、課題の整理と今後の対策等を検討した。実践圃における園芸部門の販売額が向上し、園芸拡大のためのモデルとして寄与している。	評価に基 づく今後 の対応	<input type="checkbox"/> 拡 充	<input type="checkbox"/> 縮 減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し
	[今後の事業展開に関する考え方、見直し内容] 15箇所の実践圃を引続き設置し、モデル経営体の産出額拡大を促す。同時に、周辺に波及する経営モデルの策定や他集落等の機械整備を支援し、園芸導入を推進していく。		<input checked="" type="checkbox"/> 継 続	<input type="checkbox"/> 休 止	<input type="checkbox"/> 完 了
			<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃 止	<input type="checkbox"/> そ の 他
			見直し額	千 円	

平成26年度事務事業カルテ

事業名		くだもの産地育成事業		含まれる事業数	2	所 属	農林水産 部 生産振興 課 園芸振興 G		会計区分	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計 () <input type="checkbox"/> 企業会計 ()			
事業内容		<input checked="" type="checkbox"/> 有 →ビジョン [元気な産業] <input type="checkbox"/> 無 政 策 [新しい方向をひらく農林水産業]		事業区分	<input type="checkbox"/> 国 庫 <input checked="" type="checkbox"/> 県 単 <input type="checkbox"/> その他	<input checked="" type="checkbox"/> 実行予算 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他	事業開始年度	H23 年度 経過年数 4 年	事業終了予定年度	H28 年度	事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務	
[事業目的]													
三里浜砂丘地や嶺南地域を中心にブドウ、イチジクの産地育成を行うとともに、古くから地域に根付いている在来果樹であるミカン、ビワの新植を支援し、産地の維持発展を図る。													
[事業内容]													
1 ブドウの実践圃の設置 8 箇所 県の普及指導員と試験研究員で構成される果樹振興プロジェクトチームによる実践支援、他集落等への普及 2 特産果樹の振興 ブドウ、イチジク、今庄のつるし柿、敦賀市のミカン、おおい町のビワの新植にかかる経費を助成 実施主体 営農集団 補助率 1/3													
[予算額および指標の推移等] (単位：千円)													
区 分		22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	平均伸び率	目標値、指標の積算根拠等				結果分類	
当初予算額の推移			7,000	6,818	2,296	16,116	177.7%						
2 月 現 計 予 算 額 の 推 移			6,490	6,818	1,982	12,869	161.1%						
決算額の推移			5,885	6,248	1,664		△ 33.6%						
事業効果 の推移	活動 指標	特産果樹の栽培面積 (ha)	3.4	4.8	7.0	9.0	38.5%	平成28年度までに13ha				I	
	成果 指標	特産果樹の産出額 (億円)	0	0	0.2	0.3	50.0%	平成28年度までに1億円増加				I	
	指標	在来果樹の技術継承組織数	7	8	12	13	18.2%	平成28年度までに15組織等				I	
計画の達成状況		[目標名]		年度整備水準 [] / 整備目標 年度 [] = []									
区 分		平成26年度予算額		事業開始後の見直し状況				特 記 事 項					
予 算 額 (単位：千円)		12,869											
財源内訳	国 庫												
	その他特定財源												
	一 般 財 源		12,869										
[事業の評価]													
所属の 方針	[活動指標、成果指標に対する評価] 6 箇所のブドウ実践圃において果樹振興プロジェクトチームによる指導を行い、26年度から本格的に出荷される。また、在来果樹産地3箇所において新植や技術継承を行い、継続的な産地振興が期待できる。						評価に基 づく今後 の 対 応	<input type="checkbox"/> 拡 充	<input type="checkbox"/> 縮 減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し			
	[今後の事業展開に関する考え方、見直し内容] 嶺北地域の6箇所のブドウ実践圃に嶺南地域の2箇所および農業試験場の調査研究を加えて効果的な普及指導を行う。また、実践圃の栽培面積拡大や周囲への波及を支援し、早期産地化を図る。							<input checked="" type="checkbox"/> 継 続	<input type="checkbox"/> 休 止	<input type="checkbox"/> 完 了			
						<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃 止	<input type="checkbox"/> そ の 他					
						見直し額	千 円						

平成26年度事務事業カルテ

事業名				越前水仙安定生産支援事業		含まれる事業数		5		所 属		農林水産 部		生産振興 課		園芸振興 課		G		会計区分		<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計 () <input type="checkbox"/> 企業会計 ()	
福井新々元気宣言における位置付け				<input checked="" type="checkbox"/> 有 →ビジョン [元気な産業] <input type="checkbox"/> 無 政 策 [新しい方向をひらく農林水産業]		事業区分		<input type="checkbox"/> 国 庫 <input checked="" type="checkbox"/> 県 単 <input type="checkbox"/> その他		<input checked="" type="checkbox"/> 実行予算 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他		事業開始年度		H24 年度 経過年数 3 年		事業終了予定年度		H26 年度		事務区分		<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務	

[事業目的]
担い手の育成強化により「越前水仙」の出荷量を拡大するとともに、販売促進の強化により需要を喚起し、産地の持続的な発展を支援する。

[事業内容]

<p>1 担い手育成事業</p> <p>①集落ごとの実情に応じた担い手育成支援に対する助成 実施主体 市町 補助率 1/2</p> <p>②担い手育成に必要な施設・機械等の整備に対する助成 実施主体 営農集団等 補助率 1/3</p> <p>③担い手の出荷拡大と集落協同体による分業化の誘導に対する助成 実施主体 越前水仙出荷協議会 補助率 1/3</p> <p>④需要期に対応した栽培体制の整備に対する助成 実施主体 営農集団等 補助率 1/3</p>	<p>2 販売促進事業</p> <p>宅配販売の拡大と直売拠点づくり</p>
---	--

(単位：千円)

区 分		22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	平均伸び率	目標値、指標の積算根拠等		結果分類
当初予算額の推移				3,930	4,441	4,023	1.8%			
2月現計予算額の推移				3,696	3,985	4,023	4.4%			
決算額の推移				3,266	3,951		21.0%			
事業効果 の推移	活動 指標									
	成果 指標									
	年間出荷本数(万本)			170	251	275	28.6%	H26は2月末の見込み、目標 280万本(H28)		I
	年間販売額(千円)			70,000	91,839	70,000	3.7%	H26は2月末の見込み、目標 90,000千円(H28)		II
計画の達成状況		[目標名]		年度整備水準[] / 整備目標 年度 [] = []						

区 分		平成26年度予算額	事業開始後の見直し状況	特記事項
予算額(単位：千円)		4,023	25年度より事業内容に需要期に対応した栽培体制の整備を追加	
財源内訳	国 庫			
	その他特定財源			
	一般財源	4,023		

[事業の評価]

所属の 方針	[活動指標、成果指標に対する評価] 26年度は、年明け直後の降雪により規格外品が増え、JA取扱量は減少したが、直売所等への出荷が増えたため、トータルでは販売量の増加につながった。一方、直売所等での販売単価は低いため販売額は低下した。	評価に基 づく今後 の対応	<input type="checkbox"/> 拡 充	<input type="checkbox"/> 縮 減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し
	[今後の事業展開に関する考え方、見直し内容] 生産者の高齢化・後継者不足により、生産規模が低下してきているため、既存生産者の生産規模を確保するとともに、球根供給システムを確立し、平坦地での新たな生産者を緊急確保する。		<input type="checkbox"/> 継 続	<input type="checkbox"/> 休 止	<input checked="" type="checkbox"/> 完 了
		<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃 止	<input type="checkbox"/> そ の 他	
		見直し額	△ 4,023 千 円		

平成 26 年 度 事 務 事 業 カ ル テ

				会計区分 <input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計 () <input type="checkbox"/> 企業会計 ()				
事業名		いいきり山特産品育成事業	含まれる事業数	1	所 属 農林水産 部 生産振興 課 園芸振興 G			
福井新々元気宣言に おける位置付け		<input checked="" type="checkbox"/> 有 →ビジョン [元気な産業] <input type="checkbox"/> 無 政 策 [新しい方向をひらく農林水産業]		事業区分 <input checked="" type="checkbox"/> 国 庫 <input checked="" type="checkbox"/> 県 単 <input type="checkbox"/> その他	<input checked="" type="checkbox"/> 実行予算 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他	事業開始年度 H26 年度 経過年数 1 年	事業終了 予定年度 H28 年度	事務区分 <input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務

[事業目的]
国内生産の需要が高まっている薬草を里山の新たな特産品として育成するための実証研究等を行う。

[事業内容] 1 検討会の開催
薬草の栽培に資する取組を実施するため、地域の実情に応じて学識経験者、生産者、市町、農林総合事務所（嶺南振興局）、農業関係者、実需者等の事業の推進に必要な構成員で構成する検討会を開催し、事業全体の方針・内容の検討、地域ごとの気象条件・土壌条件等に適した品目の選定、進行管理、成果の取りまとめ、情報の発信等を行う。

2 実証圃の設置
薬草の安定した生産に資する栽培技術を確立させるために必要な検証圃を設置する。

(単位：千円)

区 分	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	平均伸び率	目標値、指標の積算根拠等	結果分類
当初予算額の推移					5,583			
2月現計予算額の推移					5,572			
決算額の推移								
事業効果 の推移	活動 指標							
	成果 指標	検証圃設置数(ヶ所)				4	目標 4ヶ所(H28)	
計画の達成状況		[目標名]		年度整備水準[] / 整備目標		年度 [] = []		

区 分	平成26年度予算額	事業開始後の見直し状況	特記事項
予 算 額 (単位：千円)	5,572		
財源内訳	国 庫	2,786	
	その他特定財源		
	一 般 財 源	2,786	

[事業の評価]

所属の 方針	[活動指標、成果指標に対する評価] 目標としていた4ヶ所の検証圃が設置できた。また、各検証圃で10品目の検証を行った。そのなかで1品目の収穫ができ、収量性について検討を行うとともに、有効成分の分析を行っている。残り9品目は来年度以降、適宜収穫を行い、収量や有効成分の評価を行う。	評価に基 づく今後 の対応	<input type="checkbox"/> 拡 充	<input type="checkbox"/> 縮 減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し
	[今後の事業展開に関する考え方、見直し内容] 継続して4ヶ所の検証圃の運営を行い、残り9品目についても、適宜収穫を行い、収量や有効成分の評価を行う。		<input checked="" type="checkbox"/> 継 続	<input type="checkbox"/> 休 止	<input type="checkbox"/> 完 了
			<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃 止	<input type="checkbox"/> そ の 他
			見直し額	千 円	

平成26年度事務事業カルテ

				会計区分 <input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計 () <input type="checkbox"/> 企業会計 ()				
				所 属 農林水産 部 生産振興 課 園芸振興 G				
事業名	自然光利用型の連棟ハウス整備事業	含まれる事業数	1	<input checked="" type="checkbox"/> 国庫 <input type="checkbox"/> 県単 <input type="checkbox"/> その他	<input type="checkbox"/> 実行予算 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他			
福井新々元気宣言における位置付け	<input checked="" type="checkbox"/> 有 →ビジョン [元気な産業] <input type="checkbox"/> 無 政策 [新しい方向をひらく農林水産業]		事業区分	事業開始年度 H25 年度 経過年数 2 年	事業終了予定年度 H28 年度 事務区分 <input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務			
[事業目的]								
自然光を利用する大型ハウスによる通年出荷型大規模園芸を支援する。								
[事業内容]								
1 施設建設、栽培装置の導入 補助率 国1/2 県1/10 (市町1/10) 実施主体 農業生産法人、農業生産者集団等 2 経営初期の雇用支援 嶺南地域 1,000千円/年を5年間 実施主体 農業生産法人、農業生産者集団等								
[予算額および指標の推移等] (単位：千円)								
区分	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	平均伸び率	目標値、指標の積算根拠等	結果分類
当初予算額の推移				0	120,000	—		
2月現計予算額の推移				120,000	120,000	0.0%		
決算額の推移				0				
事業効果の推移	活動指標	周年出荷型産地数(箇所)		1	2	50.0%	平成30年度までに15箇所	I
	成果指標	周年出荷型園芸産出額(億円)			0.01	—	平成30年度までに4.5億円	—
計画の達成状況 [目標名]						年度整備水準[] / 整備目標	年度 [] = []	
区分	平成26年度予算額	事業開始後の見直し状況		特記事項				
予算額(単位：千円)	120,000			平成25年度予算については、全額平成26年度に繰越。				
財源内訳	国庫	100,000						
	その他特定財源							
	一般財源	20,000						
[事業の評価]								
所属の方針	[活動指標、成果指標に対する評価] 25年度は小浜市宮川地区において、約5,000㎡の大規模園芸施設を整備(25年度から繰越し)でミディトマトの周年栽培を開始(27年3月より出荷開始) 26年度は小浜市口名田地区において、約5,000㎡の大規模園芸施設を整備中でトマトの周年栽培を整備 [今後の事業展開に関する考え方、見直し内容] 平成27年度については、小浜市、若狭町で青ネギ、おおい町でイチゴの施設整備を予定			評価に基づく今後の対応	<input type="checkbox"/> 拡 充 <input checked="" type="checkbox"/> 継 続 <input type="checkbox"/> 整 理 統 合 見 直 し 額	<input type="checkbox"/> 縮 減 <input type="checkbox"/> 休 止 <input type="checkbox"/> 廃 止	<input type="checkbox"/> 終 期 の 見 直 し <input type="checkbox"/> 完 了 <input type="checkbox"/> そ の 他 千 円	

平成26年度事務事業カルテ

事業名		「次世代大規模施設園芸」整備事業		含まれる事業数		2		所 属		農林水産 部 生産振興 課 園芸振興 G		会計区分		<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計 () <input type="checkbox"/> 企業会計 ()	
福井新々元気宣言における位置付け		<input checked="" type="checkbox"/> 有 →ビジョン [元気な産業] <input type="checkbox"/> 無 政策 [新しい方向をひらく農林水産業]		事業区分		<input checked="" type="checkbox"/> 国 庫 <input type="checkbox"/> 県 単 <input type="checkbox"/> その他		<input type="checkbox"/> 実行予算 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他		事業開始年度 H26 年度 経過年数 1 年		事業終了予定年度 H27 年度		<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務	

[事業目的]
 本県の園芸生産の振興を図るため、集約的に次世代型大規模施設園芸に取り組み、企業の農業経営をめざす農業法人等に対して助成し、本県農業の活性化を推進する。

[事業内容]
 農業法人等が次世代大規模施設園芸に取り組み、企業の経営を確立するための経費
 実施主体 農業法人、一般法人、農業者が組織する団体、大規模施設園芸コンソーシアム(ソフトのみ)
 ①機械・施設等整備 補助率 国1/2、県1/10
 ②ソフト事業 補助率 国10/10

[予算額および指標の推移等] (単位：千円)

区 分	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	平均伸び率	目標値、指標の積算根拠等	結果分類
当初予算額の推移					751,000			
2月現計予算額の推移					906,000			
決算額の推移								
事業効果指標の推移	活動指標	次世代大規模施設園芸団地				1	平成28年度末1箇所	
	成果指標	事業実施主体の園芸産出額(億円)				0	平成30年までに7億円	

計画の達成状況 [目標名] 年度整備水準[] / 整備目標 年度 [] = []

区 分	平成26年度予算額	事業開始後の見直し状況	特記事項
予 算 額 (単位：千円)	906,000		平成26年度予算のうち、660,000千円を平成27年度に繰り越し。
財源内訳	国 庫	755,000	
	その他特定財源		
	一 般 財 源	151,000	

[事業の評価]

所属の方針	[活動指標、成果指標に対する評価] 高浜町に3.6haの自然光利用型大規模園芸施設を整備し、本県に進出した法人の事業計画を認定した。この法人は平成27年度に閉鎖型植物工場および野菜カット加工施設の整備を計画しており、今後企業的経営による園芸生産の拡大が期待できる。	評価に基づき今後の対応	<input type="checkbox"/> 拡 充	<input type="checkbox"/> 縮 減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し
	[今後の事業展開に関する考え方、見直し内容] 高浜町に進出した法人は、平成27年度に閉鎖型植物工場および野菜カット加工施設の整備を計画しており、これら施設整備の適正な指導および審査を行い、次世代型大規模施設園芸団地の整備を進める。		<input checked="" type="checkbox"/> 継 続	<input type="checkbox"/> 休 止	<input type="checkbox"/> 完 了
			<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃 止	<input type="checkbox"/> その他
			見直し額	千 円	

平成26年度事務事業カルテ

事業名		福井そばブランド確立事業	含まれる事業数	2	所 属	農林水産 部	生産振興 課	福井米振興 G	会計区分	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計 () <input type="checkbox"/> 企業会計 ()
事業内容		福井新々元気宣言における位置付け	<input type="checkbox"/> 有 →ビジョン [] <input checked="" type="checkbox"/> 無 政策 []		事業区分	<input type="checkbox"/> 国 庫 <input checked="" type="checkbox"/> 県 単 <input type="checkbox"/> その他	<input checked="" type="checkbox"/> 実行予算 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他	事業開始年度 H17 年度 経過年数 10 年	事業終了予定年度 H28 年度	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務

[事業目的]
 第19回全日本素人そば打ち名人大会の決勝大会を開催し、消費者に対してそば産地福井をPRする。また、県外の「おいしい福井県産そば使用店」の増加と県産そばの販路拡大を図るため、首都圏のそば店を対象にしたマッチング商談会を開催する。

[事業内容]
 1 栽培管理指導の徹底によるそばの反収向上・栽培推進
 2 「第19回全日本素人そば打ち名人大会」の開催を支援
 3 東京において福井県産そばのマッチング商談会を開催
 4 県外における「おいしい福井県産そば使用店」の拡大
 5 パブリシティ活動によりそば産地福井、福井県産そばPR

[予算額および指標の推移等] (単位：千円)

区 分	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	平均伸び率	目標値、指標の積算根拠等	結果分類
当初予算額の推移	7,580	3,550	989	2,755	3,236	17.7%		
2月現計予算額の推移	7,580	3,550	989	2,755	3,236	17.7%		
決算額の推移	7,247	3,339	756	2,592		37.2%		
事業効果の推移								
活動指標	おいしい福井県産そば使用店数	100	101	100	98	96	△1.0%	III
指標	全日本素人そば打ち名人大会の開催	1	1	1	1	1	0.0%	II
成果指標	県外福井県産そば使用店でのそば使用量(t)	21	16	29	22	29	11.1%	おいしい福井県産そば使用店における県産そば使用量(県外) I
指標	全日本そば打ち名人大会参加者数(人)	368	446	448	502	523	9.5%	I

計画の達成状況 [目標名] 年度整備水準 [] / 整備目標 年度 [] = []

区 分	平成26年度予算額	事業開始後の見直し状況	特記事項
予 算 額 (単位：千円)	3,236		全日本素人そば打ち名人大会の県外予選会場数 15年度 6ヶ所 16年度 9ヶ所 17年度 11ヶ所 18年度 12ヶ所 19年度 14ヶ所 20年度 15ヶ所 21年度 14ヶ所 22年度 16ヶ所 23年度 14ヶ所 24年度 13ヶ所 25年度 17ヶ所 26年度 17ヶ所
財源内訳			
国 庫			
その他特定財源			
一 般 財 源	3,236		

[事業の評価]

所属の方針	[活動指標、成果指標に対する評価] おいしい福井県産そば粉使用店認証は100店舗ほどで推移しており、福井県産そばの使用が定着しているが、県外の認証店は21店舗に留まっている。 全日本素人そば打ち名人大会を毎年度開催することにより大会参加者が年々増加している。	評価に基づく今後の対応	<input type="checkbox"/> 拡 充	<input type="checkbox"/> 縮 減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し
	[今後の事業展開に関する考え方、見直し内容] 県外のそば店・製粉会社等に対してPRを行うことで、福井県産そばの販路拡大を行うとともに、県外消費者に対しての福井そばブランドの認知度の向上、福井県産そばの需要拡大を図る。 第20回全日本素人そば打ち名人大会を実施することで、そば産地福井の更なる情報発信とブランド力向上を図る。		<input checked="" type="checkbox"/> 継 続	<input type="checkbox"/> 休 止	<input type="checkbox"/> 完 了
			<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃 止	<input type="checkbox"/> そ の 他
			見 直 し 額	千 円	

平成 26 年 度 事 務 事 業 カ ル テ

				会計区分 <input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計 () <input type="checkbox"/> 企業会計 ()						
事業名 「福井夏そば」産地確立事業		含まれる事業数 2	所 属 農林水産 部	生産振興 課 福井米振興 G						
福井新々元気宣言に おける位置付け <input checked="" type="checkbox"/> 有 →ビジョン [元気な産業] <input type="checkbox"/> 無 政 策 [新しい方向をひらく農林水産業]		事業区分 <input type="checkbox"/> 国 庫 <input checked="" type="checkbox"/> 県 単 <input type="checkbox"/> その他	<input checked="" type="checkbox"/> 実行予算 <input checked="" type="checkbox"/> 補 助 金 <input type="checkbox"/> その他	事業開始年度 H25 年度 経過年数 2 年	事業終了 予定年度 H27 年度 事務区分 <input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務					
[事業目的] 福井夏そばを福井の新たな食ブランドとするため、夏そばの実需者の評価や消費者へのPR活動により生産振興を検討し「福井夏そば」の産地化を図る。										
[事業内容] 1 福井「夏そば」のPR ・夏そばを提供するイベントを開催 2 福井夏そばの販売促進（事業実施主体 福井県麺類業生活衛生同業組合） ・販売促進のためのポスター等の作成を補助 ・各そば店で商品化されたメニューを改良（期間限定で販売。36店舗を予定）										
[予算額および指標の推移等] (単位：千円)										
区 分		22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	平均伸び率	目標値、指標の積算根拠等	結果分類	
当初予算額の推移					1,360	916	△ 32.7%			
2月現計予算額の推移					1,360	916	△ 32.7%			
決算額の推移					1,186		0.0%			
事業効果 の推移	活動 指標	イベント参加者人数			500	500	0.0%		II	
	成果 指標	夏そば作付面積 (ha)			22	20	△ 9.1%	平成27年度目標 45ha	IV	
	指標	夏そば販売店数			21	42	100.0%	平成27年度目標 50店舗	I	
計画の達成状況		[目標名]		年度整備水準[] / 整備目標		年度 [] = []				
区 分		平成26年度予算額		事業開始後の見直し状況		特 記 事 項				
予 算 額 (単位：千円)		916								
財源内訳	国 庫									
	その他特定財源									
	一 般 財 源		916							
[事業の評価]										
所属の 方針	[活動指標、成果指標に対する評価] 夏そばをPRするイベントを開催し、25年度に福井県麺類業生活衛生同業組合が開発した夏そば新メニューを500食販売した。(県内そば店42店舗、料亭3店舗)					評価に基 づく今後 の 対 応	<input type="checkbox"/> 拡 充 <input checked="" type="checkbox"/> 継 続 <input type="checkbox"/> 整 理 統 合 見 直 し 額	<input type="checkbox"/> 縮 減 <input type="checkbox"/> 休 止 <input type="checkbox"/> 廃 止	<input type="checkbox"/> 終 期 の 見 直 し <input type="checkbox"/> 完 了 <input type="checkbox"/> そ の 他 千 円	
	[今後の事業展開に関する考え方、見直し内容] より効果的に夏そばをPRできるイベント等を開催することにより夏そば販売店舗を増加し、夏そばの食ブランド化と消費・生産拡大を図る。									

平成 26 年 度 事 務 事 業 カ ル テ

事業名		農業近代化資金利子補給事業	含まれる事業数	1	所 属	農林水産 部	生産振興 課	農業資金 G	会計区分	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計 () <input type="checkbox"/> 企業会計 ()
福井新々元気宣言における位置付け		<input type="checkbox"/> 有 →ビジョン [] <input checked="" type="checkbox"/> 無 政 策 []			事業区分	<input type="checkbox"/> 国 庫 <input checked="" type="checkbox"/> 県 単 <input type="checkbox"/> その他	<input type="checkbox"/> 実行予算 <input checked="" type="checkbox"/> 補 助 金 <input type="checkbox"/> その他	事業開始年度 S36 年度 経過年数 54 年	事業終了予定年度 一 年 度	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務

[事業目的]
 農業生産に要する施設、機械機具および家畜導入等の資本の高度化を図る農業者等に農業協同組合等の融資機関が資金貸付を行う場合、長期かつ低利の資金の融通を実現することで農業経営の改善、近代化を図る。

[事業内容]
 以下の事業を行う農業者（認定農業者、集落営農組織、農業参入法人等）に資金貸付を行う農業協同組合等の融資機関に対し、利子補給を行う。
 貸付対象事業
 ①構築物造成、機械機具購入（農機具、農舎、果樹棚等） ②果樹植栽育成（樹園地整備、苗木代等） ③家畜購入育成（家畜購入、飼料代等） ④小土地改良（個人による1,800万円以下の農地改良） ⑤長期運転資金（農機具等リース料、法人化に要する費用等） ⑥農村環境整備（集会施設、水道施設等） ⑦大臣特認事業（給排水施設の改良等）

[予算額および指標の推移等] (単位：千円)

区 分	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	平均伸び率	目標値、指標の積算根拠等	結果分類
当初予算額の推移	31,171	30,767	22,381	19,816	16,675	△14.0%		
2月現計予算額の推移	24,725	22,261	19,402	16,757	15,100	△11.6%		
決算額の推移	24,714	22,236	19,349	16,749		△12.2%		
事業効果の推移								
活動指標	貸付実績	225,550	181,250	223,660	177,920	204,390	△0.5%	III
指標	貸付残高	1,873,927	1,622,551	1,320,464	1,168,282	1,042,758	△13.6%	IV
成果の推移	取扱店舗数	180	173	164	169	167	△1.8%	III
指標	所得増加を目標とする借入件数	29	20	20	14	18	△8.1%	5年後に所得1割増を目標とする借入件数 IV
計画の達成状況	[目標名] 年度整備水準〔 〕 / 整備目標 年度〔 〕 = 〔 〕							

区 分	平成26年度予算額	事業開始後の見直し状況	特記事項
予 算 額 (単位：千円)	15,100	三位一体の改革の結果、平成17年度からは国庫補助金が廃止され、税源移譲がなされた。	長期かつ低利の資金の供給により、建築物の造成や農機具の取得など農業経営の近代化に向けた取り組みが実施された。
財源内訳		平成23年度末に貸付当初5年間のみ無利子化とする国からの利子助成措置が終了したことや、近年の貸付実績の減少を考慮し、平成24年度新規融資枠を8億円から4.5億円に縮減した。	H14年度 資金使途に長期運転資金を追加 H18年度 集落営農組織の貸付限度額を2億円に拡大 H22年度 融資機関に北陸銀行、福井信用金庫が参入
	国 庫		
	その他特定財源		
	一 般 財 源	15,100	

[事業の評価]

所属の方針	[活動指標、成果指標に対する評価] 国の無利子化措置の終了に伴い、活動指標はそれぞれ減少傾向にあるものの、依然として無利子化措置以前の水準の資金需要が生じている。 金融機関の店舗統廃合により取扱店舗数は減少したが、平成22年度には県内で初めて農協系統金融機関以外の民間金融機関が参入した。 [今後の事業展開に関する考え方、見直し内容] 農業経営の幅広い分野での活用が可能な本事業の果たす役割は極めて重要であり、今後とも積極的な広報を図りながら需要の掘り起こしに努めることとし、国・県の各種施策の実施に伴い、設備投資等による経営規模の拡大や低コスト化を図る農業者の借入需要を踏まえ、継続する。	評価に基づき今後の対応	<input type="checkbox"/> 拡 充	<input type="checkbox"/> 縮 減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し
			<input checked="" type="checkbox"/> 継 続	<input type="checkbox"/> 休 止	<input type="checkbox"/> 完 了
			<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃 止	<input type="checkbox"/> そ の 他
			見 直 し 額	千 円	

平成26年度事務事業カルテ

				<input type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計 () <input type="checkbox"/> 企業会計 ()			
事業名 農業経営基盤強化促進金融支援事業		含まれる事業数 2	所 属 農林水産 部 生産振興 課 農業資金 G	<input type="checkbox"/> 国庫 <input checked="" type="checkbox"/> 県単 <input type="checkbox"/> その他	<input type="checkbox"/> 実行予算 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input checked="" type="checkbox"/> その他	事業開始年度 H6年度 経過年数 21年 事業終了予定年度	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務
福井新々元気宣言における位置付け		<input type="checkbox"/> 有 →ビジョン [] <input checked="" type="checkbox"/> 無 政策 []	事業区分				

[事業目的]
 経営感覚に優れた効率的、安定的な経営体の育成のため、認定農業者に対する長期資金、運転資金を確保し、計画達成に向けた規模拡大その他の経営展開を図る。

[事業内容]
 (1) 農業経営基盤強化資金（スーパーL資金）利子助成金（～H41年度）
 認定農業者が日本政策金融公庫から施設整備、負債整理等のために長期資金を借りる場合に、これに対する利子助成を行う。
 (2) 農業経営改善促進資金（新スーパーS資金）貸付金
 認定農業者が規模拡大、その他の経営展開を行うための低利運転資金を確保するために、県農業信用基金協会に対し協調倍率に基づく資金預託を行う。

[予算額および指標の推移等] (単位：千円)

区 分	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	平均伸び率	目標値、指標の積算根拠等	結果分類
当初予算額の推移	30,040	62,484	37,399	36,150	35,611	15.8%		
2月現計予算額の推移	17,675	29,503	15,013	12,826	13,778	2.7%		
決算額の推移	17,287	29,488	14,511	12,822		2.7%		
事業効果の推移								
活動指標	貸付実績（L資金）	312,700	379,100	147,300		△20.0%		IV
成果指標	貸付実績（S資金）	108,000	108,000	81,000	79,000	△6.9%		IV
成果指標	設備投資件数（L資金）	19	16	2		△51.6%		IV
指標	所得増加を目標とする借入件数（L資金）	11	25	2		17.6%	5年後に所得1割増を目標とする借入件数	I

計画の達成状況 [目標名] 年度整備水準 [] / 整備目標 年度 [] = []

区 分	平成26年度予算額	事業開始後の見直し状況	特記事項
予 算 額 (単位：千円)	13,778	L資金においては、平成23年度末に国と地方公共団体による利子助成措置が終了したため、平成24年度新規融資枠を廃止した。 また、S資金については国の制度改正に伴い、協調倍率に変更されたため、貸付額が増加した。	L資金 H19～23年度 金利負担軽減措置(国+地方公共団体) H24年度～ 金利負担軽減措置(国) S資金 H23年度～ 協調倍率4倍→3倍
財源内訳	11,500		
国庫	2,278		

[事業の評価]

所属の方針 [活動指標、成果指標に対する評価] 平成24年度のL資金の貸付実績については、経過措置分の承認のみである。S資金は資金使途が幅広く、農業制度資金で唯一、運転資金を短期で貸し付けることができるため、早急な資金需要の対応が図られている。 [今後の事業展開に関する考え方、見直し内容] L資金は平成24年度以降、全額国庫負担による利子助成制度となったため、新規融資枠を廃止し、25年度以降は、過年度承認分に対する利子助成のみを継続している。(平成41年度完了予定) S資金は、短期運転資金として、極めて重要な役割を果たすため、経営規模の拡大や低コスト化を図る農業者の需要を踏まえ継続する。	評価に基づく今後の対応 <input type="checkbox"/> 拡 充 <input checked="" type="checkbox"/> 継 続 <input type="checkbox"/> 整 理 統 合 <input type="checkbox"/> 縮 減 <input type="checkbox"/> 休 止 <input type="checkbox"/> 廃 止 <input type="checkbox"/> 終 期 の 見 直 し <input type="checkbox"/> 完 了 <input type="checkbox"/> そ の 他	見直し額 千円
--	--	---------

平成 26 年 度 事 務 事 業 カ ル テ

				会計区分 <input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計 () <input type="checkbox"/> 企業会計 ()						
事業名		含まれる事業数		所 属	農林水産 部	生産振興 課	農業資金	G		
農業緊急資金無利子貸付事業		1		事業区分	<input type="checkbox"/> 国庫	<input type="checkbox"/> 実行予算	H25 年度	事業終了 予定年度	H30 年度	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務
福井新々元気宣言における位置付け		<input type="checkbox"/> 有 → ビジョン [] <input checked="" type="checkbox"/> 無 政 策 []			<input checked="" type="checkbox"/> 県単	<input checked="" type="checkbox"/> 補助金	経過年数			
				<input type="checkbox"/> その他	<input type="checkbox"/> その他	2 年				

[事業目的]
 平成25年9月の台風18号により被災した農業者に対し、経営再建のために必要な資金（肥料・農薬等の購入費、農業機械等の購入・修繕費等）に対応するため、特別融資制度を創設し、農業経営の維持回復を図る。

[事業内容]
 融資機関：農業協同組合
 貸付対象者：被災した農業者（収量が平年に比べ30%以上減少し、かつ損失額が平年農業収入の10%以上）
 貸付限度額：個人 200万円、生産組織 500万円
 償還期間：5年以内（据置1年以内）

[予算額および指標の推移等] (単位：千円)

区 分	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	平均伸び率	目標値、指標の積算根拠等	結果分類
当初予算額の推移				0	700	-		
2月現計予算額の推移				1	21	1000.0%		
決算額の推移				1		-		
事業効果 の推移	活動 指標	貸付実績		3,730		-		-
成果 指標								

計画の達成状況 [目標名] 年度整備水準 [] / 整備目標 年度 [] = []

区 分	平成26年度予算額	事業開始後の見直し状況	特記事項
予 算 額 (単位：千円)	21		平成25年度のみ貸付実施(台風18号対策事業)
財源内訳			
国 庫			
その他特定財源			
一 般 財 源	21		

[事業の評価]

所属の 方針	[活動指標、成果指標に対する評価] 平成25年度限りの融資枠としており、過年度承認分（平成25年度承認分）に対する利子補給のみを継続する。	評価に基 づく今後 の対応	<input type="checkbox"/> 拡 充	<input type="checkbox"/> 縮 減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し
	[今後の事業展開に関する考え方、見直し内容] 平成25年度限りの融資枠としており、過年度承認分（平成25年度承認分）の償還完了と併せての事業完了とする。		<input checked="" type="checkbox"/> 継 続	<input type="checkbox"/> 休 止	<input type="checkbox"/> 完 了
			<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃 止	<input type="checkbox"/> そ の 他
			見直し額	千 円	

平成26年度事務事業カルテ

				<input type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計 () <input type="checkbox"/> 企業会計 ()	
				<input type="checkbox"/> 国庫 <input checked="" type="checkbox"/> 県単 <input type="checkbox"/> その他	
				<input type="checkbox"/> 実行予算 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他	
				事業開始年度 H15年度 経過年数 12年	
				事業終了予定年度 一年度	
				<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務	

事業名	福井県農業信用基金協会特別準備金補助事業費	含まれる事業数	1
福井新々元気宣言における位置付け	<input type="checkbox"/> 有 →ビジョン [] <input checked="" type="checkbox"/> 無 政策 []		

[事業目的]
 農地価格の下落および既往の借入れにより、農業者等の農業制度資金借入れに当たり担保不足が生じたり第三者保証の相手方が確保できないことがあるため、必要な時期に必要な資金の融資を可能とするよう福井県農業信用基金協会による無担保、無保証での機関保証制度が確立されたのを受け、基金協会が積み立てる特別準備金に対する補助を行い農業制度資金の融資の円滑化および基金協会の財務基盤の強化を図る。

[事業内容]
 福井県農業信用基金協会が債務保証制度の導入に伴い代位弁済等のリスクに備えて積み立てる特別準備金に対する補助を行う。

補助対象資金名
 ①農業近代化資金 ②農業改良資金 ③就農支援資金 ④農林漁業金融公庫資金 ⑤農業経営改善促進資金 ⑥農業経営負担軽減支援資金
 (実績なし) ⑦大家畜経営改善支援資金 ⑧養豚経営改善支援資金

区分		22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	平均伸び率	目標値、指標の積算根拠等	結果分類
当初予算額の推移		1,618	949	618	859	612	△16.5%		
2月現計予算額の推移		481	54	342	320	14	85.6%		
決算額の推移		366	0	293	306		△31.9%		
事業効果の推移	活動指標	農業制度資金承認件数	68	89	42	35	41	△5.4%	IV
	指標	承認件数のうち機関保証制度活用件数	28	27	22	33	40	12.3%	I
	成果指標	承認件数に占める保証制度活用率	41.2%	30.3%	52.4%	94.3%	97.6%	32.5%	I

計画の達成状況 [目標名] 年度整備水準 [] / 整備目標 年度 [] = []

区分	平成26年度予算額	事業開始後の見直し状況	特記事項
予算額 (単位: 千円)	14	三位一体の改革の結果、平成17年度からは国庫補助金が廃止され、税源移譲がなされることとなった。	貸付件数の多い農業近代化資金をはじめとする資金について無担保、無保証人でも基金協会の保証をつけることができるようになり、時宜を得た貸付が可能となった。
財源内訳	14		
国庫			
その他特定財源			
一般財源	14		

所属の方針	[活動指標、成果指標に対する評価] 基金協会の機関保証制度の確立により、農業者が時期を逃すことなく必要な資金の融資を受けることが可能となっている。	評価に基づく今後の対応	<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し
	[今後の事業展開に関する考え方、見直し内容] 無担保、無保証でも必要な時期に必要な資金の確保を可能とする機関保証制度を維持するために本事業の果たす役割は極めて重要であり、継続とする。		<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了
			<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他
			見直し額	千円	

平成26年度事務事業カルテ

				所 属		農林水産 部		生産振興 課		農業資金 G		
				事業区分	<input type="checkbox"/> 国庫	<input checked="" type="checkbox"/> 実行予算	事業開始年度	S31 年度	事業終了予定年度	H29 年度	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務	
					<input checked="" type="checkbox"/> 県単	<input type="checkbox"/> 補助金		経過年数			<input type="checkbox"/> 特別会計 ()	<input type="checkbox"/> 企業会計 ()
				<input type="checkbox"/> その他	<input type="checkbox"/> その他	59 年				<input type="checkbox"/> 法定受託事務		
<p>[事業目的]</p> <p>農業改良資金の償還ならびに国庫返納等の資金事務の適正かつ円滑な実施を図る。</p>												
<p>[事業内容]</p> <p>(1) 事務取扱委託[福井県信用農業協同組合連合会] (2) 国への貸付財源の償還</p>												
(単位：千円)												
[予算額および指標の推移等]												
区 分		22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	平均伸び率	目標値、指標の積算根拠等			結果分類	
当初予算額の推移			816	250	200	200	△29.8%					
2月現計予算額の推移			816	250	200	200	△29.8%					
決算額の推移			245	220	139		△23.5%					
事業効果 の推移 指標	活動指標	貸付残高	27,666	18,870	13,163	7,926	△33.9%				I	
	成果指標	国への償還実績	2,204	93,674	5,864	3,804	1340.4%				I	
	指標	貸倒実績	0	0	0	0	0.0%				II	
計画の達成状況		[目標名] 年度整備水準[] / 整備目標 年度[] = []										
区 分		平成26年度予算額		事業開始後の見直し状況				特記事項				
予算額 (単位：千円)		200						～平成22年度 農業改良支援基金貸付金特別会計 平成23年度～ 一般会計				
財源内訳	国庫											
	その他特定財源											
		一般財源										
[事業の評価]												
所属の 方針	[活動指標、成果指標に対する評価] 貸付に係る連絡会議での運用確認、検証をはじめ償還に係る電算処理の委託等により、迅速、適正かつ円滑な事務処理を維持することができる。					評価に基 づく今後 の対応	<input type="checkbox"/> 拡 充	<input type="checkbox"/> 縮 減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し			
	[今後の事業展開に関する考え方、見直し内容] 制度趣旨を踏まえ迅速、適正かつ円滑に資金の貸付および償還を行うことは制度資金の運営を行う上で不可欠であり、継続とする。但し、農業改良資金の償還事務等については、一般会計で行う。						<input checked="" type="checkbox"/> 継 続	<input type="checkbox"/> 休 止	<input type="checkbox"/> 完 了			
<input type="checkbox"/> 整理統合							<input type="checkbox"/> 廃 止	<input type="checkbox"/> そ の 他				
					見直し額		千 円					

平成26年度事務事業カルテ

事業名		米需給調整円滑推進事業	含まれる事業数	1	所 属	農林水産 部	生産振興 課	福井米振興 G	会計区分	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計 () <input type="checkbox"/> 企業会計 ()
事業内容	<input type="checkbox"/> 有 →ビジョン [] <input checked="" type="checkbox"/> 無 政策 []	福井新々元気宣言における位置付け			事業区分	<input type="checkbox"/> 国 庫 <input checked="" type="checkbox"/> 県 単 <input type="checkbox"/> その他	<input checked="" type="checkbox"/> 実行予算 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他	事業開始年度 H16 年度 経過年数 11 年	事業終了 予定年度 一 年度	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務

[事業目的]
 米の需給調整の円滑な推進については、主要食糧の需給及び価格の安定に関する法律の枠組みの中で、農業者・農業者団体が行政と適切に連携して生産数量目標の達成に向けて取り組むこととなっているが、その内容は米生産数量の配分など、多岐にわたる作業となっている。このため、本事業において米の需給調整が円滑に実施されるよう推進を図る。

[事業内容]
 ○県指導推進事業
 ・市町別生産数量目標の適切な配分と提供、配分方針検討のための第三者機関の開催、水田利用状況の把握・水田台帳の整備に係る指導
 ○市町指導推進事業
 ・生産者への米の生産数量目標の提供、需給調整の取組状況の確認・指導および水田台帳の整備に係る指導に対し、市町に助成

[予算額および指標の推移等] (単位：千円)

区 分	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	平均伸び率	目標値、指標の積算根拠等	結果分類
当初予算額の推移	15,701	13,956	13,885	13,543	13,298	△ 4.0%		
2月現計予算額の推移	15,701	13,631	13,885	13,543	13,298	△ 3.9%		
決算額の推移	14,431	13,065	13,324	13,396		△ 2.3%		
活動	1	1	1	1	1	0.0%		II
事業効果	15	16	16	14	10	△ 8.6%		IV
指標	99.0	99.2	98.8	99.2	99.7	0.2%	全市町の米作付け目標面積に対する米作付け実績面積	II
成果								
指標								

計画の達成状況 [目標名] 年度整備水準 [] / 整備目標 年度 [] = []

区 分	平成26年度予算額	事業開始後の見直し状況	特記事項
予 算 額 (単位：千円)	13,298		
財源内訳			
国 庫	165		
その他特定財源			
一 般 財 源	13,133		

[事業の評価]

所属の	[活動指標、成果指標に対する評価] 米の生産数量目標等の適切な需要情報の提供を行い、県全体での計画生産の徹底を図った結果、需給調整達成率99.7%を達成し、需要に応じた米生産に資することができた。	評価に基	<input type="checkbox"/> 拡 充	<input type="checkbox"/> 縮 減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し
方 針	[今後の事業展開に関する考え方、見直し内容] 需要に応じた米生産を推進し、農業者の所得安定を図るためには、米の生産数量目標の提供および水田台帳の整備に係る指導を行うことが重要であることから、継続する。	づく今後	<input checked="" type="checkbox"/> 継 続	<input type="checkbox"/> 休 止	<input type="checkbox"/> 完 了
		の 対 応	<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃 止	<input type="checkbox"/> そ の 他
			見 直 し 額	千 円	

平成26年度事務事業カルテ

事業名		水田農業構造改革対策推進事業		含まれる事業数	2	所 属	農林水産 部		生産振興 課		福井米振興 G		会計区分	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計 () <input type="checkbox"/> 企業会計 ()
福井新々元気宣言における位置付け		<input type="checkbox"/> 有 →ビジョン [] <input checked="" type="checkbox"/> 無 政策 []		事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 国 庫 <input checked="" type="checkbox"/> 県 単 <input type="checkbox"/> その他	<input checked="" type="checkbox"/> 実行予算 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他	事業開始年度	H16 年度	事業終了予定年度	11 年	一年度	事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務	
[事業目的] 福井県農業再生協議会および市町農業再生協議会が行う経営所得安定対策の円滑な運営に資するための推進指導や水田情報管理システムの管理、調整水田等の不作付地の解消に向けた指導・推進等に要する経費および地域農業・農村の将来方向の明確化に向けた取り組みについて助成する。														
[事業内容] 1 直接支払推進事業 ・ 県農業再生協議会：経営所得安定対策推進指導、水田情報管理システムの管理、調整水田等の不作付地の解消に向けた指導・推進等に対する助成 ・ 市町農業再生協議会：作付面積の確認、水田情報管理システムの入力、不作付地改善指導等に対する助成														
[予算額および指標の推移等] (単位：千円)														
区 分		22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	平均伸び率	目標値、指標の積算根拠等					結果分類	
当初予算額の推移		4,259	103,397	104,678	97,865	87,508	578.0%							
2月現計予算額の推移		4,259	91,111	92,024	86,589	82,662	507.5%							
決算額の推移		4,259	86,080	89,633	83,530		639.5%							
事業効果の推移	活動指標	県農業再生協議会開催回数	12	12	12	12	0.0%						II	
	成果指標	市町の経営所得安定対策取組率 (%)	100	100	100	100	0.0%	経営所得安定対策取組市町数/市町数					II	
計画の達成状況		[目標名] 年度整備水準 [] / 整備目標 年度 [] = []												
区 分		平成26年度予算額		事業開始後の見直し状況					特 記 事 項					
予 算 額 (単位：千円)		82,662		農業者戸別所得補償制度推進事業は、22年度まで、国庫分は国からの受け入れ先が県協議会であったが、23年度より受け入れ先が県に変更した。					平成23年度 農業者戸別所得補償制度が本格実施 平成24年度 戸別所得補償経営安定推進事業の開始 平成25年度 農業者戸別補償制度が経営所得安定対策に、農業者戸別補償制度推進事業が直接支払推進事業に移行(名称変更) ・ 農業者戸別補償制度が経営所得安定対策に、農業者戸別補償制度推進事業が直接支払推進事業に移行(名称変更) ・ 戸別所得補償安定推進事業が、人・農地問題解決推進事業、担い手への農地集積推進事業へ名称変更 平成26年度 集落営農の法人化支援が、人・農地問題解決加速化事業へ移行					
財源内訳	国 庫	78,403		25年度より農業者戸別補償制度推進事業が直接支払推進事業に移行した。(名称変更)										
	その他特定財源			26年度には直接支払推進事業のうち「集落営農の法人化支援」にかかる交付金が入る農地問題解決加速化事業へ移行した。										
一 般 財 源		4,259												
[事業の評価]														
所属の方針	[活動指標、成果指標に対する評価] 市町の経営所得安定対策等の取組率が100%であることなど、事業効果がみられる。					評価に基づく今後の対応	<input type="checkbox"/> 拡 充	<input type="checkbox"/> 縮 減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し					
	[今後の事業展開に関する考え方、見直し内容] 本事業は、経営所得安定対策等の円滑な推進に寄与するため、継続する。						<input checked="" type="checkbox"/> 継 続	<input type="checkbox"/> 休 止	<input type="checkbox"/> 完 了					
							<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃 止	<input type="checkbox"/> そ の 他					
							見直し額	千 円						

平成 26 年 度 事 務 事 業 カ ル テ

				会計区分 <input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計 () <input type="checkbox"/> 企業会計 ()							
事業名 地域農業確立支援事業		含まれる事業数 2	所 属 農林水産 部	生産振興 課	経営体育成・指導 G						
福井新々元気宣言に おける位置付け		<input checked="" type="checkbox"/> 有 →ビジョン [元気な産業] <input type="checkbox"/> 無 政 策 [新しい方向をひらく農林水産業]	事業区分 <input checked="" type="checkbox"/> 国 庫 <input type="checkbox"/> 県 単 <input checked="" type="checkbox"/> その他	<input checked="" type="checkbox"/> 実行予算 <input checked="" type="checkbox"/> 補 助 金 <input type="checkbox"/> そ の 他	事業開始年度 H24 年度 経過年数 3 年 事業終了 予定年度 H35 年度						
[事業目的] 地域農業のあり方を定めた「人・農地プラン」に基づき、農地集積を進める地域の出し手等に対して支援を行う。											
[事業内容] 1 人・農地問題解決加速化支援事業 ・人・農地プランの見直し、農業経営の法人化等に向けた市町指導等 ・人・農地プランの継続的な話し合いと見直し、農業経営の法人化等に対する支援 2 機構集積協力金交付事業 ・機構集積協力金の推進に向けた市町指導等 ・機構集積協力金の推進、交付事務等に対する支援 ・機構集積協力金の交付（地域集積協力金、経営転換協力金、耕作者集積協力金）											
[予算額および指標の推移等] (単位：千円)											
区 分		22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	平均伸び率	目標値、指標の積算根拠等	結果分類		
当初予算額の推移				110,410	134,812	346,166	89.4%				
2月現計予算額の推移				41,402	160,483	423,987	225.9%				
決算額の推移				38,037	155,485		308.8%				
事業効果 の推移	活動指標	地域農業推進キャラバン開催回数		3	3	3	0.0%	3回/年	II		
	成果指標	集落営農組織等への農地集積率 (%)		65.1	67.6	70.1	3.8%	平成30年度目標 集落営農組織等への農地集積率 80%	II		
計画の達成状況		[目標名]	年度整備水準[] / 整備目標				年度 [] = []				
区 分		平成26年度予算額	事業開始後の見直し状況			特 記 事 項					
予 算 額 (単位：千円)		423,987									
財源内訳	国 庫	17,720									
	その他特定財源	406,267									
	一 般 財 源										
[事業の評価]											
所属の 方針	[活動指標、成果指標に対する評価] 人・農地プランの継続的な話し合いと見直しの取組みを促し、農業経営の法人化や農地中間管理事業の活用を進めることにより、集落営農組織等への農地集積が図られた。				評価に基づき今後の対応	<input type="checkbox"/> 拡 充	<input type="checkbox"/> 縮 減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し			
	[今後の事業展開に関する考え方、見直し内容] 今後も集落等での人・農地プランの継続的な話し合い、見直しに基づき、農業経営の法人化や農地中間管理事業の活用を通じた農地の出し手への支援により、集落営農組織等への農地集積を促すため、継続する。					<input checked="" type="checkbox"/> 継 続	<input type="checkbox"/> 休 止	<input type="checkbox"/> 完 了			
				<input type="checkbox"/> 整理統合		<input type="checkbox"/> 廃 止	<input type="checkbox"/> そ の 他				
				見直し額		千 円					

平成26年度事務事業カルテ

				会計区分 <input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計 () <input type="checkbox"/> 企業会計 ()	
				所 属 農林水産 部 生産振興 課 福井米振興 G	
事業名	土に有機を福井の水田パワーアップ事業	含まれる事業数	1	<input type="checkbox"/> 国庫 <input checked="" type="checkbox"/> 県単 <input type="checkbox"/> その他	<input type="checkbox"/> 実行予算 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他
事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 有 →ビジョン [元気な産業] <input type="checkbox"/> 無 政策 [新しい方向をひらく農林水産業]			事業開始年度 H26年度	事業終了予定年度 H27年度
				経過年数 1年	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務

[事業目的]
 「五月半ばの適期田植え」、「食味検査に基づいた区分集荷・販売」に続く全県で実施する運動として、稲刈り後の稲わらを土にすき込む「秋の田起こし」を推奨し、併せて土壌分析に基づき、土づくり肥料の施用を行うことで、福井米のさらなる品質向上を図り、1等比率を向上させる。

[事業内容]
 (1) 生産者に対する指導支援事業
 ・土づくり指導のための改善指導資料の作成を助成
 ・土づくり肥料の効果確認のため、米品質データの収集を助成
 (2) 土壌分析に対する支援事業
 ・認定農業者・集落営農組織の土壌分析を助成

[予算額および指標の推移等] (単位：千円)

区 分	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	平均伸び率	目標値、指標の積算根拠等	結果分類
当初予算額の推移					3,836			
2月現計予算額の推移					3,836			
決算額の推移								
活動指標	土壌分析数				3,030			
成果指標	秋の田起こし実施率				73%	田起こし実施率70%		
の推移	1等米比率				86%	1等比率86%		

計画の達成状況 [目標名] 年度整備水準 [] / 整備目標 年度 [] = []

区 分	平成26年度予算額	事業開始後の見直し状況	特記事項
予 算 額 (単位：千円)	3,836		
財源内訳			
国 庫			
その他特定財源			
一 般 財 源	3,836		

[事業の評価]

所属の方針	[活動指標、成果指標に対する評価] 特A実証圃と土づくり資材肥料展示圃を設置、また土づくり実践大会を開催し福井米の品質向上を図った。コシヒカリは3年連続で「特A」評価を獲得した。	評価に基づき今後の対応	<input type="checkbox"/> 拡 充	<input type="checkbox"/> 縮 減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し
	[今後の事業展開に関する考え方、見直し内容] 福井米のさらなる評価向上のためには、土づくりの推進が必要である。土壌分析の実施は土づくりの拡大に有効であり、今後も継続する。		<input checked="" type="checkbox"/> 継 続	<input type="checkbox"/> 休 止	<input type="checkbox"/> 完 了
			<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃 止	<input type="checkbox"/> そ の 他
			見直し額	千 円	

平成26年度事務事業カルテ

				会計区分 <input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計 () <input type="checkbox"/> 企業会計 ()	
事業名 おいしい福井米生産体制整備事業		含まれる事業数 1	所 属 農林水産 部	生産振興 課 福井米振興 G	
福井新々元気宣言に おける位置付け <input type="checkbox"/> 有 →ビジョン [] <input checked="" type="checkbox"/> 無 政策 []		事業区分 <input type="checkbox"/> 国 庫 <input checked="" type="checkbox"/> 県 単 <input type="checkbox"/> その他	部 <input checked="" type="checkbox"/> 実行予算 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他	事業開始年度 H26 年度 経過年数 1 年	事業終了 予定年度 H28 年度
				事務区分 <input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務	

[事業目的]
 「福井米」のさらなる評価向上のために土づくりの推進を図り、「特A」評価を定着させるとともに、良食味で高品質な「福井米」の生産振興を行う。

[事業内容]
 ・「特A」評価を継続させるため、特A技術普及実践圃場を設置し、専門機関による食味評価を実施する。
 ・土づくりの啓発活動のため、研修会を開催する。
 ・土づくり資材入り基肥一括肥料の普及のため、県独自のエコ一括肥料に土づくり資材を加えた肥料の現地試験を実施する。

[予算額および指標の推移等] (単位：千円)

区 分	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	平均伸び率	目標値、指標の積算根拠等	結果分類
当初予算額の推移					2,025			
2月現計予算額の推移					2,025			
決算額の推移								
事業効果 の推移								
活動指標	「特A」実践圃場設置				28			
指標	土づくり資材肥料展示圃設置				15			
成果指標	「特A」相当米産地				1	食味ランキング「特A」評価		

計画の達成状況 [目標名] 年度整備水準 [] / 整備目標 年度 [] = []

区 分	平成26年度予算額	事業開始後の見直し状況	特記事項
予 算 額 (単位：千円)	2,025		
財源内訳			
国 庫			
その他特定財源			
一 般 財 源	2,025		

[事業の評価]

所属の 方針	[活動指標、成果指標に対する評価] 特A実証圃と土づくり資材肥料展示圃を設置、また土づくり実践大会を開催し福井米の品質向上を図った。コシヒカリは3年連続で「特A」評価を獲得した。	評価に基 づく今後 の 対 応	<input type="checkbox"/> 拡 充	<input type="checkbox"/> 縮 減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し
	[今後の事業展開に関する考え方、見直し内容] 福井米のさらなる評価向上のためには、「特A」評価獲得のための実践圃場の設置は有効であり、今後も継続する。		<input checked="" type="checkbox"/> 継 続	<input type="checkbox"/> 休 止	<input type="checkbox"/> 完 了
			<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃 止	<input type="checkbox"/> そ の 他
			見 直 し 額	千 円	

平成26年度事務事業カルテ

				会計区分 <input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計 () <input type="checkbox"/> 企業会計 ()		
事業名		農業改良普及評価事業費	含まれる事業数	1	所属	農林水産部 生産振興課 経営体育成・指導 G
福井新々元気宣言における位置付け		<input type="checkbox"/> 有 →ビジョン [] <input checked="" type="checkbox"/> 無 政策 []			事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 国庫 <input type="checkbox"/> 県単 <input type="checkbox"/> その他
					事業開始年度	H13 年度 14 年
					事業終了予定年度	経過年数 1 年度
					事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務

[事業目的]
 外部有識者等の広い視野から普及活動の成果を適切に評価し次年度の目標設定および活動方法等に的確に反映していくことにより、普及活動の効率的、効果的展開を図る。

[事業内容]
 農業経営支援部・課ごとに外部有識者等による農業改良普及活動評価会議を設置し、すべての普及課題に対する評価を実施する。その上で、普及活動の成果を中心に計画策定から実施運営に係る諸問題まで幅広く活動評価を行う。

[予算額および指標の推移等]							(単位：千円)	
区分	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	平均伸び率	目標値、指標の積算根拠等	
当初予算額の推移	430	355	147	142	142	△19.9%	結果分類	
2月現計予算額の推移	430	355	147	142	142	△19.9%		
決算額の推移	430	355	147	142	142	△26.5%		
事業効果の推移	活動指標	評価実施箇所数	1	1	1	1	0.0%	II
成果指標								
指標								

計画の達成状況 [目標名] 年度整備水準 [] / 整備目標 年度 [] = []

区分	平成26年度予算額	事業開始後の見直し状況	特記事項
予算額 (単位：千円)	142	平成22年度からは、評価を共有し効率的な普及活動を図るため、各農林総合事務所の重点計画から1課題ずつを選定し、一括して評価を受ける方法に変更	平成20年度 奥越、二州において実施 平成21年度 福井、若狭、農試(高度営農支援課)において実施 平成22年度 6事務所を対象に一括して実施 (以後、毎年6事務所を対象に実施。)
財源内訳	71		
国庫	71		
その他特定財源			
一般財源	71		

[事業の評価]	
所属の方針	<p>[活動指標、成果指標に対する評価] 地域の実情を反映した普及活動の実情分析、外部有識者等による課題の発見、その解決を通じ、効率的、効果的な普及活動が図られている。</p> <p>[今後の事業展開に関する考え方、見直し内容] 現状に即した普及活動を展開するためにも外部有識者等による評価は有用であり、平成27年度から協同農業普及事業交付金(国庫)の配分に外部評価の実施が影響することから、今後も継続する。</p>
評価に基づく今後の対応	<input type="checkbox"/> 拡 充 <input type="checkbox"/> 縮 減 <input type="checkbox"/> 終期の見直し <input checked="" type="checkbox"/> 継 続 <input type="checkbox"/> 休 止 <input type="checkbox"/> 完 了 <input type="checkbox"/> 整理統合 <input type="checkbox"/> 廃 止 <input type="checkbox"/> そ の 他 見直し額 千円

平成 26 年 度 事 務 事 業 カ ル テ

事業名		県産大豆生産・拡大事業費	含まれる事業数	1	所 属	農林水産 部	生産振興 課	経営体育成・指導 G	会計区分	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計 () <input type="checkbox"/> 企業会計 ()
福井新々元気宣言に おける位置付け		<input type="checkbox"/> 有 →ビジョン [] <input checked="" type="checkbox"/> 無 政 策 []			事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 国 庫 <input type="checkbox"/> 県 単 <input type="checkbox"/> その他	<input checked="" type="checkbox"/> 実行予算 <input type="checkbox"/> 補 助 金 <input type="checkbox"/> その他	事業開始年度 H25 年度 経過年数 2 年	事業終了 予定年度 H26 年度	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務

[事業目的]
 有効な水田土地利用を図るため、農業革新支援専門員がイニシアチブをとり、大豆新品種「里のほほえみ」を県域に普及拡大するとともに、県産大豆を100%使用した新商品の開発を図る。

[事業内容]
 大豆新品種「里のほほえみ」の普及拡大および県産大豆を使用した新商品開発を行う。
 (1) 実証圃の設置
 (2) 新商品の開発
 (3) 新商品の試食、求評

[予算額および指標の推移等] (単位：千円)

区 分	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	平均伸び率	目標値、指標の積算根拠等	結果分類
当初予算額の推移				889	867	△2.5%		
2月現計予算額の推移				823	678	△17.6%		
決算額の推移				823		-		
事業効果 指標 の推移	活動 実証圃設置数			6	6	0.0%		II
成果 指標 の推移	県全体の大豆作付面積に占める「里のほほえみ」の作付割合 (%)			52	80	53.8%	「里のほほえみ」への品種切り替え 100%	I
指標	県産大豆使用新商品開発数			3		-	100%県産大豆使用した新商品 7品	-
計画の達成状況	[目標名]	年度整備水準 [] / 整備目標				年度 [] = []		

区 分	平成26年度予算額	事業開始後の見直し状況	特記事項
予 算 額 (単位：千円)	678		
財源内訳	国 庫	678	
	その他特定財源		
	一 般 財 源		

[事業の評価]

所属の 方針	[活動指標、成果指標に対する評価] 農業革新支援員が中心となり大豆新品種「里のほほえみ」の栽培実証による技術確立と普及活動を行うことで、その生産拡大が図られている。また、加工業者等の実需者との意見交換を通じ加工技術を検討することで、県産大豆100%使用した商品化が図られつつある。 [今後の事業展開に関する考え方、見直し内容] さらに「里のほほえみ」の生産および利用拡大を図るため、品種・技術の普及を行う。	評価に基 づく今後 の 対 応	<input type="checkbox"/> 拡 充	<input type="checkbox"/> 縮 減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し
			<input type="checkbox"/> 継 続	<input type="checkbox"/> 休 止	<input checked="" type="checkbox"/> 完 了
			<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃 止	<input type="checkbox"/> そ の 他
			見 直 し 額	△ 867 千 円	

平成26年度事務事業カルテ

										会計区分 <input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計 () <input type="checkbox"/> 企業会計 ()		
				所 属		農林水産 部		生産振興 課		経営体育成・指導 G		
事業名		含まれる事業数		事業区分		<input type="checkbox"/> 国庫 <input checked="" type="checkbox"/> 県単 <input type="checkbox"/> その他		<input type="checkbox"/> 実行予算 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他		<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務		
福井新々元気宣言における位置付け		<input type="checkbox"/> 有 →ビジョン [] <input checked="" type="checkbox"/> 無 政策 []		1		S45 年度 経過年数 45 年		事業終了 予定年度		<input checked="" type="checkbox"/> 一年度 <input type="checkbox"/> 事務区分		
[事業目的]												
農協中央会および農協の営農、生活両面にわたる指導強化を支援し、地域の実情に適合した営農体系の確立、地域全体の生産技術の向上を図る。												
[事業内容]												
営農改善指導事業 ①営農指導員技術強化研修（農協中央会） 現地での農業生産指導に必要な生産関係法規および法令遵守に関する研修 ②営農指導員活動（農協） 水稻兼業農家の園芸品目の自給的生産から直売生産への誘導活動												
[予算額および指標の推移等] (単位：千円)												
区 分		22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	平均伸び率	目標値、指標の積算根拠等			結果分類	
当初予算額の推移		4,305	3,871	3,499	3,159	9,849	45.6%					
2月現計予算額の推移		4,305	3,871	3,499	3,159	9,849	45.6%					
決算額の推移		4,305	3,871	3,499	3,159		△9.8%					
事業効果 の推移	活動	営農指導員研修会回数	6	6	6	6	0.0%				II	
	指標	営農指導員数	200	200	200	200	0.0%	平成17年度からは現場で指導を行う者に限定			II	
	成果	新規直売農業者育成数	608	624	641	603	△0.2%	毎年600人を育成			III	
計画の達成状況		[目標名] 年度整備水準[] / 整備目標 年度 [] = []										
区 分		平成26年度予算額		事業開始後の見直し状況				特記事項				
予算額 (単位：千円)		9,849		平成16年度で地域営農支援プロジェクト事業は完了となった。また、平成17年度からは、営農指導員による技術指導内容に直売生産の振興を追加し、新規直売農業者の育成を図る。平成26年度は、キッチンカーの導入を補助し、福井発「ごはん全国キャラバン」を実施し、県産農産物等のPRを図る。								
財源内訳	国 庫											
	その他特定財源											
	一 般 財 源		9,849									
[事業の評価]												
所属の 方針	[活動指標、成果指標に対する評価] 地域農業の確立のためには地域全体の農業技術等の向上が重要であり、将来的に農業組織の中核的存在となる者の資質向上を図るため、営農指導員による営農および生活両面からの指導が不可欠である。											
	[今後の事業展開に関する考え方、見直し内容] 農業生産、農業収入の拡大をはじめとする地域農業の確立のためには地域全体の農業技術等の向上が重要である。その中でも、営農指導員による営農、生活両面からの指導が不可欠であるため、補助金対象単価を減額しながら今後も継続する。											
	評価に基 づく今後 の対応		<input type="checkbox"/> 拡 充 <input checked="" type="checkbox"/> 継 続 <input type="checkbox"/> 整 理 統 合 <input type="checkbox"/> 見 直 し 額		<input type="checkbox"/> 縮 減 <input type="checkbox"/> 休 止 <input type="checkbox"/> 廃 止		<input type="checkbox"/> 終 期 の 見 直 し <input type="checkbox"/> 完 了 <input type="checkbox"/> そ の 他 千 円					

平成26年度事務事業カルテ

事業名		地域農業支援員設置事業	含まれる事業数	1	所属	農林水産部	生産振興課	経営体育成・指導	G	会計区分	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計 () <input type="checkbox"/> 企業会計 ()
福井新々元気宣言における位置付け		<input type="checkbox"/> 有 →ビジョン [] <input checked="" type="checkbox"/> 無 政策 []			事業区分	<input type="checkbox"/> 国庫 <input checked="" type="checkbox"/> 県単 <input checked="" type="checkbox"/> その他	<input checked="" type="checkbox"/> 実行予算 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他	事業開始年度 H17年度 経過年数 10年	事業終了予定年度 一年度	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務	

[事業目的]
 新たな小規模園芸産地の育成により地産地消の拡大を図るため地域農業支援員を設置し、小規模農家や自給的農家に対し園芸品目の栽培技術から加工販売に関する現地指導を行う。また、通所介護事業所において利用者が農作業体験により、機能訓練や地域の高齢者との交流促進を図るための支援を行う。

[事業内容]
 県が地域農業支援員を委嘱し、直売所に出荷する農家等に対し安全・安心な農作物生産、加工品の開発等に関する指導を行う。
 (1) 安全・安心な農作物生産のための農薬や肥料の適正使用に関する指導、支援
 (2) 少量多品目など特色ある農産物の栽培技術指導、支援
 (3) 果樹・花き・福井の伝統野菜等の栽培や加工品の開発に関する指導、支援
 (4) 通所介護事業所が行う農作業や栽培管理の指導、支援

[予算額および指標の推移等] (単位：千円)

区分	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	平均伸び率	目標値、指標の積算根拠等	結果分類
当初予算額の推移	6,355	4,818	4,297	3,647	3,847	△11.2%		
2月現計予算額の推移	6,355	3,373	3,827	3,172	3,257	△12.0%		
決算額の推移	4,179	3,135	3,482	2,630		△12.8%		
事業効果指標								
活動指標	指導を受けた農業者数	1,824	1,372	1,521	1,599	△2.9%		III
成果指標	直売所で安全・安心な農産物を販売した生産者数(累計)	2,761	3,009	3,528	4,359	16.6%		I
指標	大規模直売所の販売額(億円)	18	19	20	20	3.6%		II

計画の達成状況 [目標名] 年度整備水準 [] / 整備目標 年度 [] = []

区分	平成26年度予算額	事業開始後の見直し状況	特記事項
予算額(単位：千円)	3,257	平成20年度から、中山間地や都市近郊など農地の集積が困難な地域での農業生産活動を支援するため、支援員を50人から60人に増員 平成25年度から、高齢者が農作業に親しむ機会をさらに広げるため、農作業に関する技術的指導やサポートを希望する通所介護事業所に対し支援員を派遣	
財源内訳			
国庫			
その他特定財源	160		
一般財源	3,097		

[事業の評価]

所属の方針	[活動指標、成果指標に対する評価] 生産技術や農薬の適正使用など安全・安心な農産物生産のための技術指導を行ったことにより、新たに直売所に出荷する生産者の増加につながっている。 [今後の事業展開に関する考え方、見直し内容] 直売所出荷農家等へ安全・安心な農作物生産のための農薬の適正使用等について指導するとともに、農作業を活用した高齢者の健康維持や生きがいを支援していくため、支援員活動を継続・拡充する。	評価に基づく今後の対応 <input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 整理統合 <input type="checkbox"/> 見直し額	<input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> その他 千円
-------	--	--	--

平成26年度事務事業カルテ

				所 属		農林水産 部		生産振興 課		経営体育成・指導 G						
				事業 区 分	<input checked="" type="checkbox"/> 国庫 <input type="checkbox"/> 県単 <input type="checkbox"/> その他		<input checked="" type="checkbox"/> 実行予算 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他		事業 開 始 年 度	H2 年度 経過年数 25 年	事業終了 予定年度	一 年度	事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務		
事業名		農業士育成対策事業費		含まれる事業数		1										
福井新々元気宣言に おける位置付け		<input type="checkbox"/> 有 →ビジョン [] <input checked="" type="checkbox"/> 無 政策 []														
[事業目的]																
知事が地域の優れた担い手を農業士として認定することによりその意欲を盛り上げ、地域農業の振興を図る。 「指導農業士」 現に優れた経営を行い社会的評価が認められる者、後継者の育成に指導的役割を果たしている者 「青年農業士」 意欲的に従事する青年のうち地域の中核的存在となりうる者																
[事業内容]																
指導農業士および青年農業士の認定およびこれらに対する研修の実施 ①全体研修 ②個別研修 ③地区研修 ④交流研究会（北陸、全国） ⑤情報資料の発行																
[予算額および指標の推移等] (単位：千円)																
区 分		22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	平均伸び率	目標値、指標の積算根拠等						結果分類		
当初予算額の推移		1,110	1,113	1,116	124	124	△22.1%									
2月現計予算額の推移		1,110	1,113	1,116	124	124	△22.1%									
決算額の推移		1,110	1,113	1,116	124		△29.5%									
事業効果 の推移	活動	青年農業士認定数	6	2	12	1	3	135.4%							I	
	指標	指導農業士認定数	2	3	5	7	8	42.7%							I	
	成果	青年農業士数	47	48	55	54	53	3.3%							II	
	指標	指導農業士数	189	187	176	173	167	△3.0%							III	
計画の達成状況		[目標名] 年度整備水準 [] / 整備目標 年度 [] = []														
区 分		平成26年度予算額		事業開始後の見直し状況				特記事項								
予 算 額 (単位：千円)		124														
財源内訳	国 庫		62													
	その他特定財源															
	一 般 財 源		62													
[事業の評価]																
所属の 方針	[活動指標、成果指標に対する評価] 農業士の認定、研修を行うことにより県内各地の優れた農業経営形態の情報交流が促進され、地域農業の全体的なレベルアップが図られつつある。					評価に基 づく今後 の 対 応	<input type="checkbox"/> 拡 充 <input type="checkbox"/> 縮 減 <input type="checkbox"/> 終期の見直し									
	[今後の事業展開に関する考え方、見直し内容] 地域農業の発展には地域のリーダーとなる農業士の認定数の増大および農業士の更なる資質の向上が必要であり、今後も継続とする。また、近年、指導農業士数が減少傾向となっており、女性農業士の新規認定者増加を図る。						<input checked="" type="checkbox"/> 継 続 <input type="checkbox"/> 休 止 <input type="checkbox"/> 完 了									
					<input type="checkbox"/> 整理統合 <input type="checkbox"/> 廃 止 <input type="checkbox"/> そ の 他											
					見直し額 千 円											

平成 26 年 度 事 務 事 業 カ ル テ

										会計区分 <input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計 () <input type="checkbox"/> 企業会計 ()			
				所 属		農林水産 部		生産振興 課		経営体育成・指導 G			
事業名		戦略的研究開発事業費		含まれる事業数		1		事業区分		<input type="checkbox"/> 国庫 <input checked="" type="checkbox"/> 県単 <input checked="" type="checkbox"/> その他			
福井新々元気宣言における位置付け		<input checked="" type="checkbox"/> 有 →ビジョン [元気な産業] <input type="checkbox"/> 無 政策 [新しく方向をひらく農林水産業]						<input checked="" type="checkbox"/> 実行予算 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他		事業開始年度 S42 年度 事業終了予定年度 経過年数 48 年 事業区分 <input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務			
[事業目的]													
消費者や企業のニーズに合った新たな需要創出につながる戦略的研究の強化													
[事業内容]													
(1) 大規模営農組織の生産性向上技術の開発 (2) 生き物にやさしい“ポストこしひかり”特裁技術の確立 (3) スペシャルミディトマトの新品種育成 (4) 直売観光で売れるイチジクとブドウの品種選抜とイチジクの長期どり作型の開発 (5) 福井発の五ツ星ブランド水稻新品種の育成													
[予算額および指標の推移等] (単位：千円)													
区 分		22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	平均伸び率	目標値、指標の積算根拠等			結果分類		
当初予算額の推移		11,340	13,161	10,067	6,945	22,614	46.8%						
2月現計予算額の推移		11,340	13,911	10,067	6,945	17,137	27.7%						
決算額の推移		10,955	12,922	10,064	6,945		△11.7%						
事業効果 の推移	活動課題数	12	10	17	3	5	9.4%				I		
	指標 完了した課題数	7	2	15	0	0	119.6%				I		
	成果 外部発表数	6	19	13	5	3	20.9%	学会発表、講演など			I		
	指標 発表会等参加者数	807	1696	965	809		17.0%	県内農業者、企業等を対象とした発表会等への参加者数			I		
計画の達成状況		[目標名] 年度整備水準[] / 整備目標 年度 [] = []											
区 分		平成26年度予算額		事業開始後の見直し状況				特記事項					
予算額 (単位：千円)		17,137						外部委員による研究評価委員会を開催しており、課題化前の試験研究開発内容や研究後の成果等について事後の研究評価を実施している。					
財源内訳	国 庫												
	その他特定財源		6,422										
	一般財源		10,715										
[事業の評価]													
所属の 方針	[活動指標、成果指標に対する評価] 生産現場からの技術開発の要請に基づく課題化を図っているため、開発技術の普及が進みやすく、農業生産の安定化が図れる。					評価に基 づく今後 の対応	<input type="checkbox"/> 拡 充	<input type="checkbox"/> 縮 減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し				
	[今後の事業展開に関する考え方、見直し内容] 専門的な分野・領域における高度な識見を有するアドバイザーのアドバイスを受け、さらに出口を見据えた戦略的研究に取り組む						<input checked="" type="checkbox"/> 継 続	<input type="checkbox"/> 休 止	<input type="checkbox"/> 完 了				
					<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃 止	<input type="checkbox"/> そ の 他						
					見直し額	千 円							

平成26年度事務事業カルテ

事業名		農業者ニーズ対応型研究開発事業費		含まれる事業数		1		所 属		農林水産 部		生産振興 課		経営体育成・指導 G		会計区分		<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計 () <input type="checkbox"/> 企業会計 ()			
福井新々元気宣言における位置付け		<input type="checkbox"/> 有 →ビジョン [] <input checked="" type="checkbox"/> 無 政策 []		事業区分		<input type="checkbox"/> 国 庫 <input checked="" type="checkbox"/> 県 単 <input checked="" type="checkbox"/> その他		<input checked="" type="checkbox"/> 実行予算 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他		事業開始年度		H16 年度 経過年数 11 年		事業終了 予定年度		一 年度		事務区分		<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務	
[事業目的]																					
農業者のニーズや地域の抱える共通課題等の効率的、効果的な解決を図る。																					
[事業内容]																					
(1) 水稻の良食味性の科学的解明—おいしさの見える化— (2) 水稻の高温耐性に関するDNAマーカーを利用した育種技術の開発 (3) 水田を活用した省力果樹生産技術の開発 (ミカン) (4) 簡単に取り組めるホームユース切り花栽培技術の開発 (5) 作業性の高い水田転換ウメ園の増収技術の確立																					
[予算額および指標の推移等] (単位：千円)																					
区 分		22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	平均伸び率	目標値、指標の積算根拠等										結果分類			
当初予算額の推移		5,500	34,611	18,624	15,319	10,797	109.0%														
2月現計予算額の推移		15,780	26,055	16,890	14,570	10,657	△2.7%														
決算額の推移		15,780	26,048	16,890	14,570		5.4%														
事業効果 の推移	活動課題数	2	4	3	3	5	35.4%											I			
	指標 完了した課題数	0	1	2	1	3	62.5%											I			
	成果 外部発表数	2	11	0	1		116.7%	学会発表、講演など										I			
	指標 発表会等参加者数	360	0	0	270		△33.3%	県内農業者、企業等を対象とした発表会等への参加者数										IV			
計画の達成状況		[目標名] 年度整備水準 [] / 整備目標 年度 [] = []																			
区 分		平成26年度予算額				事業開始後の見直し状況				特記事項											
予 算 額 (単位：千円)		10,657								外部委員による研究評価委員会を開催しており、課題化前の試験研究開発内容や研究後の成果等について事後の研究評価を実施している。											
財源内訳	国 庫																				
	その他特定財源	7,900																			
	一 般 財 源	2,757																			
[事業の評価]																					
所属の 方針	[活動指標、成果指標に対する評価] 独法研究機関のほか大学や民間等との産学官連携のもとでの共同研究することにより、効率化が図られている。また、設定された重点領域や地域課題に対しても本県の特徴を反映させた試験研究がなされている。										評価に基 づく今後 の 対 応	<input type="checkbox"/> 拡 充	<input type="checkbox"/> 縮 減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し							
	[今後の事業展開に関する考え方、見直し内容] 大学等との共同研究ということでより効率化が図られているほか、単独研究では手の回りにくい広域的、専門的課題に対する試験研究が可能であることから、今後も継続する。											<input checked="" type="checkbox"/> 継 続	<input type="checkbox"/> 休 止	<input type="checkbox"/> 完 了							
												<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃 止	<input type="checkbox"/> そ の 他							
												見 直 し 額	千 円								

平成26年度事務事業カルテ

事業名		農林水産業の技術開発事業費	含まれる事業数	1	所 属	農林水産 部	生産振興 課	経営体育成・指導 G	会計区分	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計 () <input type="checkbox"/> 企業会計 ()
事業内容	福井新々元気宣言における位置付け	<input type="checkbox"/> 有 →ビジョン [] <input checked="" type="checkbox"/> 無 政策 []			事業区分	<input type="checkbox"/> 国 庫 <input checked="" type="checkbox"/> 県 単 <input type="checkbox"/> その他	<input checked="" type="checkbox"/> 実行予算 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他	事業開始年度 H20 年度 経過年数 7 年	事業終了予定年度 一 年度	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務

[事業目的]
 「意欲ある農林水産業者」の技術開発を支援するため県が設置する農林水産関係の試験研究機関が現地共同試験研究に取り組むとともに、産業連携・新分野への進出支援研究を実施する。

[事業内容]
 農林水産業者からの提案に基づき農林水産業者の施設等を活用した現地共同試験研究による新技術の開発

[予算額および指標の推移等] (単位：千円)

区 分	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	平均伸び率	目標値、指標の積算根拠等	結果分類
当初予算額の推移	2,500	2,500	2,500	3,400	3,400	9.0%		
2月現計予算額の推移	2,500	1,750	2,500	3,400	3,400	12.2%		
決算額の推移	2,500	1,750	2,500	3,295		14.9%		
事業効果の推移								
活動指標	課題数	6	4	9	10	8	20.7%	I
指標	完了した課題数	6	4	9	10	8	20.7%	I
成果の推移	外部発表数	2	0	3	1		△55.6%	学会発表、講演など
指標	発表会等参加者数			205	270		10.6%	県内農業者、企業等を対象とした発表会等への参加者数
計画の達成状況	[目標名] 年度整備水準 [] / 整備目標 年度 [] = []							

区 分	平成26年度予算額	事業開始後の見直し状況	特記事項
予 算 額 (単位：千円)	3,400		※H26年度から、食料産業振興課が事業を実施
財源内訳			
国 庫			
その他特定財源			
一 般 財 源	3,400		

[事業の評価]

所属の方針	[活動指標、成果指標に対する評価] 生産現場からの技術開発の要請に基づく課題化を図っているため、開発技術の普及が進みやすく、農業生産の安定化が図れる。 [今後の事業展開に関する考え方、見直し内容] 専門的な分野・領域における高度な識見を有するアドバイザーのアドバイスを受け、さらに出口を見据えた戦略的研究に取り組む。	評価に基づく今後の対応 <input type="checkbox"/> 拡 充 <input checked="" type="checkbox"/> 継 続 <input type="checkbox"/> 整 理 統 合 <input type="checkbox"/> 見 直 し 額	<input type="checkbox"/> 縮 減 <input type="checkbox"/> 休 止 <input type="checkbox"/> 廃 止 <input type="checkbox"/> 千 円	<input type="checkbox"/> 終期の見直し <input type="checkbox"/> 完 了 <input type="checkbox"/> そ の 他
-------	---	--	--	---

平成 26 年度 事務 事業 カ ル テ

								会計区分 <input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計 () <input type="checkbox"/> 企業会計 ()				
				所 属		農林水産 部		生産振興 課		経営体育成・指導 G		
事業名		含まれる事業数		事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 国庫 <input type="checkbox"/> 県単 <input type="checkbox"/> その他		<input checked="" type="checkbox"/> 実行予算 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他		H26 年度 経過年数 1 年	事業終了 予定年度 H27 年度	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務	
福井新々元気宣言に おける位置付け		<input checked="" type="checkbox"/> 有 →ビジョン [元気な産業] <input type="checkbox"/> 無 政策 [新しく方向をひらく農林水産業]										
[事業目的] 嶺南地域の立地を生かした次世代園芸技術（スマートアグリ）の開発や市場性の高い本県オリジナル園芸育種など、これからの先駆けとなる研究に取り組むために、園芸研究センターの機能・施設を強化する												
[事業内容] 1 スマートアグリ研究施設の整備 ミディトマト、パプリカ、イチゴの周年安定多収生産技術の開発 2 オリジナル園芸育種研究施設の整備 甘くてカラフルなスペシャルミディトマトや機能性成分に富んだブドウやフルーツウメ品種の育成 3 研修環境整備 大規模施設園芸の担い手となる人材育成のための研修機器の整備												
[予算額および指標の推移等] (単位：千円)												
区 分		22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	平均伸び率	目標値、指標の積算根拠等			結果分類	
当初予算額の推移						149,714						
2月現計予算額の推移						149,714						
決算額の推移												
事業効果 の推移	活動	園芸研究Cのミディトマト周年栽培の収量										
	指標	園芸研究Cのパプリカ周年栽培の収量										
	成果	農家のミディトマト周年栽培の収量										
	指標	農家のパプリカ周年栽培の収量										
計画の達成状況 [目標名] 年度整備水準 [] / 整備目標 年度 [] = []												
区 分		平成26年度予算額		事業開始後の見直し状況				特記事項				
予算額 (単位：千円)		149,714										
財源内訳	国 庫		134,742									
	その他特定財源											
	一 般 財 源		14,972									
[事業の評価]												
所属の 方針	[活動指標、成果指標に対する評価] 26年度は、ミディトマト・パプリカ周年生産栽培技術研究用ハウス1棟とイチゴ周年栽培技術研究用ハウス1棟の整備と関連備品の導入を行った。					評価に基 づく今後 の対応	<input type="checkbox"/> 拡 充	<input checked="" type="checkbox"/> 縮 減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し			
	[今後の事業展開に関する考え方、見直し内容] 計画的な整備により、27年度は調査作業棟の整備やオリジナル園芸育種研究施設（ハウス5棟）の整備、研修用備品の導入を行い、園芸研究センターの機能・施設の強化を図る。						<input type="checkbox"/> 継 続	<input type="checkbox"/> 休 止	<input type="checkbox"/> 完 了			
<input type="checkbox"/> 整理統合							<input type="checkbox"/> 廃 止	<input type="checkbox"/> そ の 他				
見直し額							△ 52,554 千 円					

平成26年度事務事業カルテ

				会計区分 <input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計 () <input type="checkbox"/> 企業会計 ()						
事業名		畜産研修会費	含まれる事業数	1	所属	農林水産部	生産振興課	畜産振興・家畜衛生	G	
福井新々元気宣言における位置付け		<input type="checkbox"/> 有 →ビジョン [] <input checked="" type="checkbox"/> 無 政策 []			事業区分	<input type="checkbox"/> 国庫 <input checked="" type="checkbox"/> 県単 <input type="checkbox"/> その他	<input checked="" type="checkbox"/> 実行予算 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他	事業開始年度 S53 年度 経過年数 37 年	事業終了予定年度 一年度 事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務

[事業目的]
 国等が主催する研修会等に参加し、畜産に関する新技術・知識等を習得することにより、畜産職員の資質を向上する。

[事業内容]
 各種研修会への参加
 (1) 中央畜産技術研修
 (2) 家畜衛生研修会
 (3) 研究員短期集合研修
 (4) 農林水産関係中堅研究者研修
 (5) 受精卵移植技術研修

[予算額および指標の推移等] (単位：千円)

区分	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	平均伸び率	目標値、指標の積算根拠等	結果分類
当初予算額の推移	810	297	211	302	251	△ 16.5%		
2月現計予算額の推移	810	216	203	302	251	△ 11.9%		
決算額の推移	518	215	202	299	251	△ 5.5%		
事業効果の推移							目標値の設定が困難	
活動指標	研修職員数	3	4	4	4	5	14.6%	I
成果指標							目標値の設定が困難	

計画の達成状況 [目標名] 年度整備水準 [] / 整備目標 年度 [] = []

区分	平成26年度予算額	事業開始後の見直し状況	特記事項
予算額 (単位：千円)	251		日々進歩する先端技術の研修を受講し、畜産職員の資質向上と全国レベルの技術水準を維持することで、新技術の活用や家畜伝染病予防、家畜飼養技術の向上など、より高度な技術力を必要とする農家指導・支援や試験研究に対応する。
財源内訳			
国庫			
その他特定財源			
一般財源	251		

[事業の評価]

所属の方針	[活動指標、成果指標に対する評価] 畜産担当職員全体より高度な技術・知識習得とその時代の課題への適切な対応という観点から、計画的に受講している。 [今後の事業展開に関する考え方、見直し内容] 本事業は、畜産職員の資質を向上させるとともに新たな課題にも適切に対応するため、将来的にも継続していく必要がある。	評価に基づく今後の対応 <input type="checkbox"/> 拡 充 <input checked="" type="checkbox"/> 継 続 <input type="checkbox"/> 整 理 統 合 <input type="checkbox"/> 縮 減 <input type="checkbox"/> 休 止 <input type="checkbox"/> 廃 止 <input type="checkbox"/> 終 期 の 見 直 し <input type="checkbox"/> 完 了 <input type="checkbox"/> そ の 他	見直し額 千円
-------	---	--	---------

平成 26 年 度 事 務 事 業 カ ル テ

				所 属		農林水産 部		生産振興 課		畜産振興・家畜衛生 G			
				事 業 区 分	<input type="checkbox"/> 国 庫	<input type="checkbox"/> 実行予算	事 業 開 始 年 度	S24 年度	事 業 終 了 予 定 年 度	一 年 度	事 務 区 分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務	
					<input checked="" type="checkbox"/> 県 単	<input checked="" type="checkbox"/> 補助金		経過年数				<input type="checkbox"/> 法定受託事務	
				<input type="checkbox"/> その他	<input type="checkbox"/> その他		66 年						
<p>事業名 畜産共進会費 含まれる事業数 2</p> <p>福井新々元気宣言における位置付け <input type="checkbox"/> 有 →ビジョン [] <input checked="" type="checkbox"/> 無 政策 []</p>													
<p>[事業目的]</p> <p>各家畜毎に畜産農家や関係者が一同に会し比較検討することにより、家畜の造成意欲を高揚し、畜産経営の健全な発展に寄与する。</p>													
<p>[事業内容]</p> <p>畜産共進会の開催費および参加費に対する助成（県若狭子牛共進会、中部日本ホルスタイン共進会等）</p>													
(単位：千円)													
区 分		22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	平均伸び率	目標値、指標の積算根拠等				結果分類	
当初予算額の推移		737	737	160	574	160	27.1%						
2月現計予算額の推移		280	160	160	574	160	35.9%						
決算額の推移		280	160	147	502		63.5%						
事業効果 の推移	活動 指標	共進会開催回数	2	2	2	2	0.0%					II	
	成果 指標	経産牛1頭あたり乳量 (kg/年)	7,395	7,354	7,364	7,366	7,488	0.3%	本県生乳生産量/経産牛頭数				II
		若狭子牛1日増体量 (kg)	0.98	1.01	1.02	0.99	0.98	0.0%	若狭子牛市場出品牛の平均1日増体量				II
計画の達成状況		[目標名] 年度整備水準 [] / 整備目標 年度 [] = []											
区 分		平成26年度予算額		事業開始後の見直し状況				特 記 事 項					
予 算 額 (単位：千円)		160		<ul style="list-style-type: none"> ・ 県若狭子牛共進会：毎年開催 ・ 近畿東海北陸連合肉牛共進会：H23年から当面出品見送り ・ 県ホルスタイン共進会：H5年から2年に1回開催 ・ 中部日本ホルスタイン共進会：H20年から5年に1回開催 ・ H25年静岡大会開催 ・ 全日本ホルスタイン共進会：5年に1回開催（次回、H27開催予定） 									
財源内訳		国 庫											
		その他特定財源											
		一 般 財 源		160									
<p>[事業の評価]</p> <p>[活動指標、成果指標に対する評価]</p> <p>経産牛1頭当たり乳量は、近年は猛暑の影響で減少傾向にあるが、若狭子牛の1日増体量についてはほぼ横ばいの状態を維持している。共進会は、家畜の改良と飼養管理の成果を相互に競い合う場であり、畜産農家の家畜改良および増殖意欲を高める機会を設定する意味で有効である。</p> <p>[今後の事業展開に関する考え方、見直し内容]</p> <p>畜産農家の家畜改良および増殖意欲を高める有効な手段であり、今後とも継続して実施する。</p>													
所 属 の 方 針						評 価 に 基 づ く 今 後 の 対 応	<input type="checkbox"/> 拡 充	<input type="checkbox"/> 縮 減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し				
							<input checked="" type="checkbox"/> 継 続	<input type="checkbox"/> 休 止	<input type="checkbox"/> 完 了				
							<input type="checkbox"/> 整 理 統 合	<input type="checkbox"/> 廃 止	<input type="checkbox"/> そ の 他				
							見 直 し 額		千 円				

平成26年度事務事業カルテ

事業名		ふれあい畜産強化事業	含まれる事業数	1	所 属	農林水産 部	生産振興 課	畜産振興・家畜衛生 G	会計区分	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計 () <input type="checkbox"/> 企業会計 ()
事業区分		<input type="checkbox"/> 有 →ビジョン [] <input checked="" type="checkbox"/> 無 政策 []			事業区分	<input type="checkbox"/> 国 庫 <input checked="" type="checkbox"/> 県 単 <input type="checkbox"/> その他	<input checked="" type="checkbox"/> 実行予算 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他	事業開始年度 H21 年度 経過年数 6 年	事業終了 予定年度 一 年度	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務

[事業目的]
 畜産に対する理解醸成と県民への潤いを提供するため、体験学習等の案内を行う専門職員を配置し、動物とのふれあい体験学習等の内容が充実できるよう機能を強化する。

[事業内容]
 1. ふれあい体験業務外部委託（21年度～）
 2. ふれあい施設実施計画策定（21年度）
 3. ふれあい施設改修、草地整備等（22年度～24年度）（公共事業）

[予算額および指標の推移等] (単位：千円)

区 分	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	平均伸び率	目標値、指標の積算根拠等	結果分類	
当初予算額の推移	7,722	7,722	26,941	14,531	13,655	49.2%			
2月現計予算額の推移	7,722	7,722	26,176	13,570	13,655	47.9%			
決算額の推移	7,722	7,722	25,755	13,554		62.1%			
事業効果 の推移	活動 指標 体験学習等の業務時間	1,736	1,609	3,463	3,338	3,000	23.5%	目標値 毎年1,584時間以上	I
	成果 指標 畜産3施設への来場者数(万人)	2.4	2.4	3.6	4.6	5.1	22.2%	目標値 年間6万人	I

計画の達成状況 [目標名] 年度整備水準[] / 整備目標 年度 [] = []

区 分	平成26年度予算額	事業開始後の見直し状況	特記事項
予 算 額 (単位：千円)	13,655		
財源内訳	国 庫		
	その他特定財源		
	一 般 財 源	13,655	

[事業の評価]

所属の 方針	[活動指標、成果指標に対する評価] 体験学習等により畜産施設への来場者数が大幅に増加している。また、施設等の改修により、動物とのふれあい機能がより充実したため、今後さらなる県民の利用増加が期待できる。	評価に基 づく今後 の 対 応	<input type="checkbox"/> 拡 充	<input type="checkbox"/> 縮 減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し
	[今後の事業展開に関する考え方、見直し内容] 体験学習等の案内を行う専門職員の配置など、畜産に対する理解醸成と県民への潤いを提供するため、今後も継続して事業を実施していく。		<input checked="" type="checkbox"/> 継 続	<input type="checkbox"/> 休 止	<input type="checkbox"/> 完 了
			<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃 止	<input type="checkbox"/> そ の 他
		見直し額	千 円		

平成26年度事務事業カルテ

事業名		畜産経営安定化支援事業	含まれる事業数	5	所 属	農林水産 部	生産振興 課	畜産振興・家畜衛生 G	会計区分	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計 () <input type="checkbox"/> 企業会計 ()
事業内容		<input checked="" type="checkbox"/> 有 →ビジョン [元気な産業] <input type="checkbox"/> 無 政 策 [新しい方向をひらく農林水産業]			事業区分	<input type="checkbox"/> 国 庫 <input checked="" type="checkbox"/> 県 単 <input type="checkbox"/> その他	<input checked="" type="checkbox"/> 実行予算 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他	事業開始年度 H23 年度 経過年数 4 年	事業終了 予定年度 H26 年度	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務

[事業目的]
 畜産部門への新規参入者等を支援するとともに、意欲のある農家の施設整備等に助成し、畜産経営の安定化を促進する。

[事業内容]
 1 新規畜産人確保 就農相談セミナーへの参加等
 2 畜産経営体継承支援
 ①畜産新規就農希望者等の研修中の家賃支援 補助率 1/2
 ②里親畜産農家での研修経費支給
 3 商品化・販路拡大支援
 実施主体 畜産農家 補助率 1/2
 4 畜舎・堆肥舎等の施設整備支援
 実施主体 畜産農家 補助率 1/3

[予算額および指標の推移等] (単位：千円)

区 分	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	平均伸び率	目標値、指標の積算根拠等	結果分類	
当初予算額の推移		15,927	16,299	16,184	16,084	0.3%			
2月現計予算額の推移		12,961	16,299	16,184	16,084	8.1%			
決算額の推移		9,967	13,002	15,361		24.3%			
事業効果 の推移	活動指標	就農相談会実施数	4	6	8	7	23.6%		I
	指標	販路拡大・施設整備等に取り組む農家数	7	11	14	11	21.0%		I
	成果	畜産新規就農者数	1	1	2	3	50.0%	平成26年度までに8名	I
	指標	畜産後継者数	3	4	2	2	△ 5.6%	平成26年度までに16名	IV
計画の達成状況	[目標名]	年度整備水準[] / 整備目標 年度 [] = []							

区 分	平成26年度予算額	事業開始後の見直し状況	特記事項
予算額 (単位：千円)	16,084	今後は養蜂業や里山放牧についても支援対象とし取り組んでいく。	
財源内訳	国 庫		
	その他特定財源		
	一般財源	16,084	

[事業の評価]

所属の 方針	[活動指標、成果指標に対する評価] 畜産部門の県外就農相談会や里親農家での受入研修を実施することで、新規就農者等の確保ができた。また、意欲ある畜産農家が本事業を活用して、規模拡大等を進め経営安定や経営継承の準備を進めることができた。	評価に基 づく今後 の対応	<input type="checkbox"/> 拡 充	<input type="checkbox"/> 縮 減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し
	[今後の事業展開に関する考え方、見直し内容] 今後は、収益性や経営効率の一層の向上を図るため、市場競争力のある畜種への転換や生産性の高い家畜の導入などに取り組んでいく。		<input type="checkbox"/> 継 続	<input type="checkbox"/> 休 止	<input checked="" type="checkbox"/> 完 了
			<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃 止	<input type="checkbox"/> そ の 他
		見直し額	△ 16,084 千 円		

平成26年度事務事業カルテ

				所 属		農林水産 部		生産振興 課		畜産振興・家畜衛生 G	
				事業区分	<input type="checkbox"/> 国庫	<input checked="" type="checkbox"/> 実行予算	事業開始年度	S59 年度	事業終了予定年度	一 年度	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務
					<input checked="" type="checkbox"/> 県単	<input checked="" type="checkbox"/> 補助金		経過年数			<input type="checkbox"/> 企業会計 ()
				<input type="checkbox"/> その他	<input type="checkbox"/> その他	31 年		<input type="checkbox"/> 法定受託事務			
<p>事業名 家畜改良繁殖推進事業費 含まれる事業数 3</p> <p>福井新々元気宣言における位置付け <input type="checkbox"/> 有 →ビジョン [] <input checked="" type="checkbox"/> 無 政策 []</p>											
<p>[事業目的]</p> <p>乳用牛の産乳量、乳成分の検査成績、繁殖管理情報を集積し、家畜改良事業団のコンピューターおよび県牛群検定情報分析センター（畜産試験場内）で解析することにより、乳用牛の能力検定を行い、乳用牛の改良と改善を進める。</p>											
<p>[事業内容]</p> <p>1. 乳用牛群検定普及定着化事業・・・乳用牛群検定の推進会議の開催や、産乳量、繁殖情報等を調査分析による能力検定の実施 2. 乳用種雄牛後代検定推進事業・・・後代検定を推進会議開催や、後代検定の調査指導を実施</p>											
(単位：千円)											
区 分		22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	平均伸び率	目標値、指標の積算根拠等			結果分類
当初予算額の推移		1,035	941	941	941	941	△ 2.3%				
2月現計予算額の推移		1,035	941	941	941	941	△ 2.3%				
決算額の推移		945	851	851	858		△ 3.0%				
事業効果 の推移	活動 指標	牛群検定実施農家率 (%)	60	49	56	58	54	△ 1.9%	牛群検定実施農家/県内酪農家×100		Ⅲ
	成果 指標	牛群検定乳量 (kg/年)	8,904	9,059	9,260	9,452	9,556	1.8%	乳検成績 kg/年		Ⅱ
計画の達成状況		[目標名] 年度整備水準[] / 整備目標 年度 [] = []									
区 分		平成26年度予算額		事業開始後の見直し状況				特記事項			
予算額 (単位：千円)		941		乳用牛パワーアップ事業(平成17年度 廃止)							
財源内訳	国 庫										
	一般財源	941									
<p>[事業の評価]</p> <p>所属の 方針 [活動指標、成果指標に対する評価] 本事業は、乳用牛群能力を向上する基本的な取組みで、本県の酪農経営安定にとって不可欠である。県内乳牛の乳量は年々向上しており、県内乳牛の能力向上に貢献している。 [今後の事業展開に関する考え方、見直し内容] 実施効果も高いことから継続して実施する。</p>											
評価に基づく今後の対応		<input type="checkbox"/> 拡 充	<input type="checkbox"/> 縮 減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し							
		<input checked="" type="checkbox"/> 継 続	<input type="checkbox"/> 休 止	<input type="checkbox"/> 完 了							
		<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃 止	<input type="checkbox"/> そ の 他							
		見直し額		千 円							

平成 26 年 度 事 務 事 業 カ ル テ

				<input type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計 () <input type="checkbox"/> 企業会計 ()					
				所 属 農林水産 部 生産振興 課 畜産振興・家畜衛生 G					
事業名	若狭牛増体・肉質向上対策事業	含まれる事業数	1	事業区分 <input type="checkbox"/> 国庫 <input checked="" type="checkbox"/> 県単 <input type="checkbox"/> その他	<input checked="" type="checkbox"/> 実行予算 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他	事業開始年度 H13 年度 経過年数 14 年	事業終了 予定年度 一 年度	事務区分 <input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務	
福井新々元気宣言における位置付け	<input type="checkbox"/> 有 →ビジョン [] <input checked="" type="checkbox"/> 無 政 策 []								
[事業目的]									
嶺南牧場を核とした枝肉情報と血統情報の収集・分析体制を構築し、肉質や肉付の良さなどの親から子に遺伝する能力を数値化したものである育種価を活用させる。									
[事業内容]									
1. 枝肉情報および血統情報の収集・とりまとめ 2. 育種価の算出 3. 若狭牛改良推進会議の設置運営									
[予算額および指標の推移等] (単位：千円)									
区 分		22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	平均伸び率	目標値、指標の積算根拠等	結果分類
当初予算額の推移		324	289	246	225	219	△ 9.2%		
2 月 現 計 予 算 額 の 推 移		324	289	246	225	219	△ 9.2%		
決算額の推移		312	283	233	220		△ 10.9%		
事業効果 の推移	活動指標 育種価算出 (若狭牛経産牛頭数)	329	322	291	301		△ 2.8%		III
	成果指標 枝肉重量 (kg : 1 頭当り平均)	416	419	422	425		0.7%		II
	成果指標 胸芯面積 (cm ² : 1 頭当り平均)	51.6	52.0	52.3	52.7		0.7%		II
計画の達成状況		[目標名] 年度整備水準 [] / 整備目標 年度 [] = []							
区 分		平成26年度予算額		事業開始後の見直し状況			特 記 事 項		
予 算 額 (単位：千円)		219							
財源内訳	国 庫								
	その他特定財源								
	一 般 財 源	219							
[事業の評価]									
所属の 方針	[活動指標、成果指標に対する評価] 枝肉の品質が徐々に向上し、効果が上がってきている。				評価に基 づく今後 の 対 応	<input type="checkbox"/> 拡 充	<input type="checkbox"/> 縮 減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	
	[今後の事業展開に関する考え方、見直し内容] 若狭牛繁殖農家経営の安定化や肉牛生産振興の推進に効果的であり、今後も継続して実施する。					<input checked="" type="checkbox"/> 継 続	<input type="checkbox"/> 休 止	<input type="checkbox"/> 完 了	
				<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃 止	<input type="checkbox"/> そ の 他			
				見 直 し 額	千 円				

平成 26 年 度 事 務 事 業 カ ル テ

				所 属		農林水産 部		生産振興 課		畜産振興・家畜衛生 G		
				事業区分	<input type="checkbox"/> 国庫	<input type="checkbox"/> 実行予算	事業開始年度	H16 年度	事業終了予定年度	一 年度	事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務
					<input checked="" type="checkbox"/> 県単	<input checked="" type="checkbox"/> 補助金		経過年数				11 年
事業名		食肉流通体制確立推進事業費	含まれる事業数	2								
福井新々元気宣言における位置付け		<input type="checkbox"/> 有 →ビジョン []										
		<input checked="" type="checkbox"/> 無 政 策 []										
[事業目的]												
肉畜の円滑な流通と県産食肉の安定供給のため、農家経営の支援と県産食肉の流通を奨励し、流通体制を確立する。												
[事業内容]												
<ul style="list-style-type: none"> ・肉畜流通対策事業 金沢食肉流通センターまで肉畜を運搬する農家の運賃負担を軽減する。(補助率 1/3 補助対象事業費 13,500千円) ・食肉流通対策事業 金沢食肉流通センターから県産食肉を供給する経費に助成する。(補助率 1/3 補助対象事業費16,500千円) 事業対象畜種 肉牛、肉豚												
[予算額および指標の推移等] (単位：千円)												
区 分		22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	平均伸び率	目標値、指標の積算根拠等		結果分類		
当初予算額の推移		10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	0.0%					
2月現計予算額の推移		10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	0.0%					
決算額の推移		9,921	9,437	9,416	9,473		△ 1.5%					
事業効果 の推移	活動指標	センター利用頭数(牛)		931	863	861	803		△ 4.8%	Ⅲ		
	成果指標	センター利用頭数(豚)		4,132	3,548	3,518	3,842		△ 1.9%	Ⅲ		
	活動指標	金沢出荷頭数/総出荷頭数(牛)		45.5	44.5	45.7	44.0		△ 1.1%	Ⅲ		
	成果指標	金沢出荷頭数/総出荷頭数(豚)		48.4	44.8	46.2	54.3		4.4%	Ⅱ		
計画の達成状況		[目標名]		年度整備水準[] / 整備目標				年度 [] = []				
区 分		平成26年度予算額		事業開始後の見直し状況				特 記 事 項				
予算額 (単位：千円)		10,000		平成16年度より、助成対象を輸送費のみとした。				成果指標について、23年度以降は牛、豚ともに数字の根拠となる農林水産省の統計調査が中止されたため、推定出荷頭数(飼養頭数×出荷頭数割合(18~22年度平均))を採用。				
財源内訳		国 庫										
		その他特定財源										
		一 般 財 源		10,000								
[事業の評価]												
所属の 方針	[活動指標、成果指標に対する評価] 牛、豚とも県民に対する県産品の安定供給に寄与している。				評価に基 づく今後 の 対 応	<input type="checkbox"/> 拡 充	<input type="checkbox"/> 縮 減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し				
	[今後の事業展開に関する考え方、見直し内容] 今後も、肉畜の円滑な流通と安定的な出荷先の確保、県産食肉の安定供給を推進し、地産地消を推進する観点から必要である。					<input checked="" type="checkbox"/> 継 続	<input type="checkbox"/> 休 止	<input type="checkbox"/> 完 了				
				<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃 止	<input type="checkbox"/> そ の 他						
				見直し額		千 円						

平成 26 年 度 事 務 事 業 カ ル テ

				会計区分 <input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計 () <input type="checkbox"/> 企業会計 ()					
事業名 畜産経営技術高度化支援指導事業		含まれる事業数 1	所 属 農林水産 部 生産振興 課 畜産振興・家畜衛生 G	<input type="checkbox"/> 国庫 <input checked="" type="checkbox"/> 県単 <input type="checkbox"/> その他	<input checked="" type="checkbox"/> 実行予算 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他	事業開始年度 H6 年度 経過年数 21 年	事業終了予定年度 一 年度	事務区分 <input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務	
福井新々元気宣言における位置付け <input type="checkbox"/> 有 →ビジョン [] <input checked="" type="checkbox"/> 無 政 策 []									
[事業目的] 経営感覚に優れた生産性の高い畜産経営体を早急に育成するため、畜産農家の高度化に対する支援・指導を総合的に実施する。									
[事業内容] 畜産技術の高度化、経営の複雑化に対応できる指導体制を整備し、畜産農家の経営の高度化に対する技術・経営指導を総合的に実施するため、一般社団法人福井県畜産協会に畜産経営のコンサルタント業務や情報提供等の一部を委託									
[予算額および指標の推移等] (単位：千円)									
区 分		22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	平均伸び率	目標値、指標の積算根拠等	結果分類
当初予算額の推移		1,608	1,608	1,367	1,226	1,106	△ 8.8%		
2 月 現 計 予 算 額 の 推 移		1,608	1,608	1,367	1,226	1,106	△ 8.8%		
決算額の推移		1,608	1,608	1,367	1,226		△ 8.4%		
事業効果 の推移	活動 指標	経営分析指導農家数	30	30	30	30	0.0%	経営分析指導農家戸数	II
	成果 指標	1 戸 当 たり 農 業 産 出 額 (千 円)	21,794	23,611	26,087	24,615	9.4%	分析対象畜種 (乳牛、肉牛) 農業産出額 / 農家戸数	I
計画の達成状況		[目標名] 年度整備水準 [] / 整備目標 年度 [] = []							
区 分		平成26年度予算額		事業開始後の見直し状況			特 記 事 項		
予 算 額 (単 位 : 千 円)		1,106		平成15年度、対象農家の重点化、情報提供業務等の廃止による経費の軽減					
財源内訳	国 庫								
	その他特定財源								
	一 般 財 源		1,106						
[事業の評価]									
所属の 方針	[活動指標、成果指標に対する評価] 飼料価格の高止まりの影響を受けながらも、1戸当たりの農業産出額は平均すると増加している。 [今後の事業展開に関する考え方、見直し内容] 畜産については、産地間競争や国際競争が激化する中で厳しい状況におかれている。今後は指導効果の高い農家を対象とし集合研修の回数を見直すなど効率化を進めながら生産性の高い畜産経営体の育成に努める。				評価に基 づく今後 の 対 応	<input type="checkbox"/> 拡 充 <input checked="" type="checkbox"/> 継 続 <input type="checkbox"/> 整 理 統 合	<input type="checkbox"/> 縮 減 <input type="checkbox"/> 休 止 <input type="checkbox"/> 廃 止	<input type="checkbox"/> 終 期 の 見 直 し <input type="checkbox"/> 完 了 <input type="checkbox"/> そ の 他	
		見 直 し 額		千 円					

平成 26 年 度 事 務 事 業 カ ル テ

事業名		若狭牛繁殖安定推進事業費	含まれる事業数	1	所 属	農林水産 部	生産振興 課	畜産振興・家畜衛生 G	会計区分	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計 () <input type="checkbox"/> 企業会計 ()
福井新々元気宣言における位置付け	<input type="checkbox"/> 有 →ビジョン [] <input checked="" type="checkbox"/> 無 政 策 []				事業区分	<input type="checkbox"/> 国 庫 <input checked="" type="checkbox"/> 県 単 <input type="checkbox"/> その他	<input type="checkbox"/> 実行予算 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他	S59 年度 経過年数 31 年	事業終了 予定年度	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務

[事業目的]
 若狭牛繁殖経営における死流産および繁殖障害の発生による損失に対し、補給金を交付し畜産経営を安定する。

[事業内容]
 家畜共済の非対象期間に生じる、若狭牛の死流産・繁殖障害による損失に対する交付金への助成
 実施主体 (一社) 福井県畜産経営安定基金協会
 補助率 1/3

(単位：千円)

区 分	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	平均伸び率	目標値、指標の積算根拠等	結果分類	
当初予算額の推移	308	349	283	370	391	7.7%			
2月現計予算額の推移	392	349	283	370	391	1.6%			
決算額の推移	392	307	283	370		0.4%			
事業効果 の推移	活動指標	契約対象頭数	275	249	269	257	△ 2.0%		III
	成果指標	契約頭数	228	238	249	228	0.2%		II
	指標	契約率 (%)	83	94	93	89	2.6%		II
計画の達成状況	[目標名] 年度整備水準 [] / 整備目標 年度 [] = []								

区 分	平成26年度予算額	事業開始後の見直し状況	特記事項
予算額 (単位：千円)	391		家畜共済の非対象期間に生じる、若狭牛の死流産・繁殖障害による損失に対し補給金を交付する事業であり目標等の設定は困難
財源内訳			
<input type="checkbox"/> 国 庫 <input type="checkbox"/> その他特定財源 <input checked="" type="checkbox"/> 一 般 財 源	391		

[事業の評価]

所属の 方針	[活動指標、成果指標に対する評価] 近年は80%以上の契約率を保っており、若狭牛の繁殖経営安定に貢献している。	評価に基 づく今後 の対応	<input type="checkbox"/> 拡 充	<input type="checkbox"/> 縮 減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し
	[今後の事業展開に関する考え方、見直し内容] 若狭牛生産の基礎となる繁殖雌牛を維持・拡大するため、今後も推進する。		<input checked="" type="checkbox"/> 継 続	<input type="checkbox"/> 休 止	<input type="checkbox"/> 完 了
			<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃 止	<input type="checkbox"/> そ の 他
			見直し額	千 円	

平成 26 年 度 事 務 事 業 カ ル テ

				所 属		農林水産 部		生産振興 課		畜産振興・家畜衛生 G		
				事業区分	<input type="checkbox"/> 国庫	<input checked="" type="checkbox"/> 実行予算	事業開始年度	H2 年度	事業終了予定年度	一 年度	事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務
					<input checked="" type="checkbox"/> 県単	<input checked="" type="checkbox"/> 補助金		経過年数				25 年
				<input checked="" type="checkbox"/> その他	<input type="checkbox"/> その他							
事業名		肉用子牛価格安定推進事業費		含まれる事業数		2						
福井新々元気宣言における位置付け		<input type="checkbox"/> 有 →ビジョン []		<input checked="" type="checkbox"/> 無 政 策 []								
[事業目的]												
肉用牛生産の存立を確保するために実施されている肉用子牛価格安定制度を円滑に推進し、肉用子牛生産農家の生産意欲の向上と経営の安定に寄与する。												
[事業内容]												
<ul style="list-style-type: none"> 肉用子牛生産者補給交付金等交付業務事務（事業主体：県） 生産者補給交付金等の交付業務に係る県指定協会の指導等の事務委託 肉用子牛生産者積立金助成事業（事業主体：（一社）福井県畜産経営安定基金協会 補助率：1/4） 合理化目標価格を平均売買価格が下回ったとき、差額補填の財源となる生産者積立金の補助に要する経費 												
[予算額および指標の推移等] (単位：千円)												
区 分		22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	平均伸び率	目標値、指標の積算根拠等		結果分類		
当初予算額の推移		2,768	2,176	2,300	2,196	2,176	△ 5.3%					
2 月 現 計 予 算 額 の 推 移		1,701	1,710	1,771	1,348	1,131	△ 9.0%					
決算額の推移		1,699	1,047	1,138	891		△ 17.1%					
事業効果 の推移	活動 指標	契約頭数	705	482	512	326	239	△ 22.1%			IV	
	成果 指標	肉用牛飼養頭数	3,610	3,470	3,320	3,210	2,880	△ 5.5%			IV	
計画の達成状況		[目標名]		年度整備水準 [] / 整備目標		年度 [] = []						
区 分		平成26年度予算額		事業開始後の見直し状況		特 記 事 項						
予 算 額 (単位：千円)		1,131				1 業務対象期間を 5 力年とし、期間終了後（5 年毎）に積立金を清算。 平成14年度：B S E 特例措置として14ヶ月分予算措置 (H14年1月～15年2月) 平成15年度：10ヶ月分予算 (H15年3月～12月) 肉用子牛の売買価格が下がった時に補填する事業であり、目標等の設定は困難である。						
財源内訳		国 庫										
		その他特定財源		800								
		一 般 財 源		331								
[事業の評価]												
所属の 方針	[活動指標、成果指標に対する評価] 肉用牛の飼養頭数や契約頭数は減少しているが、子牛価格低下時の収入減に対応しており、経営安定に寄与している。				評価に基 づく今後 の 対 応	<input type="checkbox"/> 拡 充	<input type="checkbox"/> 縮 減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し				
	[今後の事業展開に関する考え方、見直し内容] 肉用牛生産の基礎となる肉用子牛生産農家の生産意欲の向上と経営安定に必要な事業であり今後も推進する。					<input checked="" type="checkbox"/> 継 続	<input type="checkbox"/> 休 止	<input type="checkbox"/> 完 了				
						<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃 止	<input type="checkbox"/> そ の 他				
						見 直 し 額		千 円				

平成26年度事務事業カルテ

事業名		三ツ星若狭牛PR事業	含まれる事業数	1	所 属	農林水産 部	生産振興 課	畜産振興・家畜衛生 G	会計区分	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計 () <input type="checkbox"/> 企業会計 ()
福井新々元気宣言における位置付け	<input type="checkbox"/> 有 →ビジョン [] <input checked="" type="checkbox"/> 無 →政策 []				事業区分	<input type="checkbox"/> 国庫 <input checked="" type="checkbox"/> 県単 <input type="checkbox"/> その他	<input checked="" type="checkbox"/> 実行予算 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他	事業開始年度 H26年度 経過年数 1年	事業終了予定年度 H28年度	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務

[事業目的]
 平成26年度より認証制度がスタートする三ツ星若狭牛の認知度向上のため、県内外に向けてPRを行う。

[事業内容]
 ・三ツ星若狭牛の認知度向上
 ・販促資材の作成・配布、県内レストラン等へのPR
 ・関係団体による新承認制度発足および販売促進・イベント参加への支援
 実施主体 経済連等
 補助率 1/2

(単位：千円)

区 分	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	平均伸び率	目標値、指標の積算根拠等	結果分類
当初予算額の推移					4,118			
2月現計予算額の推移					4,118			
決算額の推移								
事業効果 の推移	活動 指標	三ツ星若狭牛PR回数						
	成果 指標	三ツ星若狭牛販売頭数					平成28年度 100頭	
計画の達成状況	[目標名]		年度整備水準[] / 整備目標			年度 [] = []		

区 分	平成26年度予算額	事業開始後の見直し状況	特記事項
予算額 (単位：千円)	4,118		
財源内訳	国庫		
	その他特定財源		
	一般財源	4,118	

[事業の評価]

所属の 方針	[活動指標、成果指標に対する評価] 三ツ星若狭牛の提供店舗の拡大や認知度向上を行うためにPR活動を行い、今後、販売頭数が増加するよう販売促進を図っている。	評価に基 づく今後 の対応	<input type="checkbox"/> 拡 充	<input checked="" type="checkbox"/> 縮 減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し
	[今後の事業展開に関する考え方、見直し内容] 初年度のブランド化スタート支援を見直したうえで、三ツ星若狭牛のPRによる提供店確保、販路拡大を行うとともに、県内外に対して三ツ星若狭牛の認知度の向上、消費拡大を図り、更なる三ツ星若狭牛の情報発信とブランド力向上を図る。		<input type="checkbox"/> 継 続	<input type="checkbox"/> 休 止	<input type="checkbox"/> 完 了
			<input type="checkbox"/> 整 理 統 合	<input type="checkbox"/> 廃 止	<input type="checkbox"/> そ の 他
			見直し額	△ 720 千 円	

平成 26 年 度 事 務 事 業 カ ル テ

										会計区分 <input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計 () <input type="checkbox"/> 企業会計 ()		
				所 属		農林水産 部		生産振興 課		畜産振興・家畜衛生 G		
事 業 名		牛海綿状脳症監視体制強化事業費		含まれる事業数		1		事業区分		<input checked="" type="checkbox"/> 国庫 <input checked="" type="checkbox"/> 実行予算 <input type="checkbox"/> 県単 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> その他		
福井新々元気宣言に おける位置付け		<input type="checkbox"/> 有 →ビジョン [] <input checked="" type="checkbox"/> 無 政 策 []		事業区分		<input checked="" type="checkbox"/> 国庫 <input checked="" type="checkbox"/> 実行予算 <input type="checkbox"/> 県単 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> その他		事業開始年度 H13 年度 経過年数 14 年		事業終了 予定年度 一 年 度 事務区分 <input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input checked="" type="checkbox"/> 法定受託事務		
[事業目的]												
BSE対策特別措置法により、平成15年7月から24ヶ月齢以上の死亡牛の全頭検査が義務化された。検査体制を強化し死亡牛の全頭検査に対応することにより、安全な畜産物の供給に寄与するとともにBSEを撲滅し、消費者の信頼と牛肉の消費を回復する。												
[事業内容]												
・死亡牛検査体制の強化と発生防止対策												
[予算額および指標の推移等] (単位：千円)												
区 分		22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	平均伸び率	目標値、指標の積算根拠等			結果分類	
当初予算額の推移		9,279	9,564	11,067	10,679	8,028	△ 2.4%					
2月現計予算額の推移		9,279	9,564	11,067	10,050	8,028	△ 2.6%					
決算額の推移		9,170	9,464	9,997	9,527		1.4%					
事業効果 の推移	活動指標	死亡牛のBSE検査頭数	144	126	102	87	△ 15.4%	全頭検査は平成15年7月～			IV	
	指標	検査率 (%)	100	100	100	100	0.0%				II	
	成果指標	BSEによる損害額 (円)	0	0	0	0	0.0%				II	
計画の達成状況 [目標名] 年度整備水準 [] / 整備目標 年度 [] = []												
区 分		平成26年度予算額		事業開始後の見直し状況				特記事項				
予 算 額 (単位：千円)		8,028		家畜保健衛生所の動物用焼却炉の整備完了(19年度)				本事業は家畜伝染病予防法やBSE対策特別措置法に基づき行うもので、県内の畜産農家で死亡した牛の検査体制や畜産経営安定に寄与するものであり、具体的な目標値の設定は困難である。				
財源内訳	国 庫		1,648									
	その他特定財源											
	一 般 財 源		6,380									
[事業の評価]												
所属の 方針	[活動指標、成果指標に対する評価] 死亡牛の全頭検査が義務化された平成15年7月以降100%の検査実施率を達成し、消費者の不安払拭に寄与している。					評価に基 づく今後 の 対 応	<input type="checkbox"/> 拡 充	<input type="checkbox"/> 縮 減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し			
	[今後の事業展開に関する考え方、見直し内容] 死亡牛検査はBSE対策特別措置法が継続する間は、同法に基づき県としても検査対応しなければならない。今後も食の安全のため検査体制を維持するとともに、畜産農家の経営安定のために必要な対策を講じていく必要がある。						<input checked="" type="checkbox"/> 継 続	<input type="checkbox"/> 休 止	<input type="checkbox"/> 完 了			
							<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃 止	<input type="checkbox"/> そ の 他			
							見直し額		千 円			

平成 26 年 度 事 務 事 業 カ ル テ

										会計区分 <input type="checkbox"/> 一般会計 () <input type="checkbox"/> 特別会計 () <input type="checkbox"/> 企業会計 ()		
				所 属		農林水産 部		生産振興 課		畜産振興・家畜衛生 G		
事業名	家畜衛生技術普及強化費	含まれる事業数	2	事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 国庫	<input checked="" type="checkbox"/> 実行予算	事業開始年度	H13 年度	事業終了予定年度	一年度	事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務
福井新々元気宣言における位置付け	<input type="checkbox"/> 有 →ビジョン [] <input checked="" type="checkbox"/> 無 政策 []				<input checked="" type="checkbox"/> 県単	<input type="checkbox"/> 補助金		14 年				<input type="checkbox"/> 法定受託事務
[事業目的]												
家畜伝染病の発生予防およびまん延防止の強化と、乳牛における疾病予防体制の確立により、酪農経営を安定する。												
[事業内容]												
①家畜伝染病まん延防止円滑化対策事業 ・推進会議の開催、防疫訓練の実施、情報の収集 ・モニタリング調査の実施 ②泌乳初期の疾病予防対策強化事業（H26～H28） ・健康状態把握 ・乳房炎検査 ・酪農家への指導等												
[予算額および指標の推移等] (単位：千円)												
区 分		22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	平均伸び率	目標値、指標の積算根拠等				結果分類
当初予算額の推移		3,470	3,138	4,182	2,839	2,592	△ 4.3%					
2月現計予算額の推移		3,470	3,138	4,182	2,440	2,592	△ 2.9%					
決算額の推移		3,325	3,138	3,348	2,440		△ 8.7%					
事業効果 の推移 指標	活動	会議開催回数	5	6	5	5	0.8%					II
	成果	防疫演習開催	2	3	3	3	12.5%					I
計画の達成状況		[目標名] 年度整備水準〔 〕 / 整備目標 年度〔 〕 = 〔 〕										
区 分		平成26年度予算額		事業開始後の見直し状況				特 記 事 項				
予 算 額 (単位：千円)		2,592		16年度に国内で鳥インフルエンザが発生したことにより、17年度から県は防疫訓練を行うなど指導體制を強化				高病原性鳥インフルエンザ、BSE、口蹄疫、豚コレラ等の家畜伝染病発生時の危機管理体制の確立を目標とする。				
財源内訳	国 庫	1,295		20年度から乳房炎の検査および防疫指導を実施								
	その他特定財源	187		23年度から酪農家に対し、乳牛のメタボ対策、飼養管理方法等についての指導を実施								
	一般財源	1,110		26年度から疾病が多い泌乳初期(分娩後2週)に重点をおいて検査および指導を実施								
[事業の評価]												
所属の 方針	[活動指標、成果指標に対する評価] 防疫研修会を全県・各地区で開催し関係者へ周知するとともに、鳥インフルエンザをはじめとする動物由来感染症のモニタリング調査を行うなど監視体制を強化した。				評価に基 づく今後 の対応	<input type="checkbox"/> 拡 充	<input type="checkbox"/> 縮 減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し				
	[今後の事業展開に関する考え方、見直し内容] 今後大型畜産経営で家畜伝染病が発生した場合を想定して、県、市町、関係機関による防疫訓練を毎年実施するとともに、引き続きモニタリング調査を行うなど監視体制の維持強化する。					<input checked="" type="checkbox"/> 継 続	<input type="checkbox"/> 休 止	<input type="checkbox"/> 完 了				
						<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃 止	<input type="checkbox"/> そ の 他				
						見直し額	千 円					

平成 26 年 度 事 務 事 業 カ ル テ

事業名		酪農肉牛試験研究費	含まれる事業数	2	所 属	農林水産 部	生産振興 課	畜産振興・家畜衛生 G	会計区分	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計 () <input type="checkbox"/> 企業会計 ()
福井新々元気宣言における位置付け		<input type="checkbox"/> 有 →ビジョン [] <input checked="" type="checkbox"/> 無 政 策 []			事業区分	<input type="checkbox"/> 国 庫 <input checked="" type="checkbox"/> 県 単 <input type="checkbox"/> その他	<input checked="" type="checkbox"/> 実行予算 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他	事業開始年度 H3 年度 経過年数 24 年	事業終了予定年度 一 年 度	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務

[事業目的]
 高品質生乳の生産技術の検討や高品質若狭牛の生産技術等を確立する。

[事業内容]
 ・泌乳ステージに応じた乳牛への飼料用粳米多給技術の確立事業 : 各育成ステージに適した粳米給与技術の確立に伴う生産コストの低減 (平成24～26年度)

(単位：千円)

区 分	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	平均伸び率	目標値、指標の積算根拠等	結果分類	
当初予算額の推移	12,063	11,159	10,085	8,002	7,738	△ 10.3%			
2月現計予算額の推移	12,063	11,159	10,085	8,002	7,738	△ 10.3%			
決算額の推移	12,034	11,158	10,085	7,976		△ 12.6%			
事業効果 指標 の推移	活動 指標 供試頭数	21	21	20	16	6	△ 21.8%		IV
成果 指標	経産牛1頭当たり乳量 (kg/年)	7,395	7,354	7,364	7,366		△ 0.1% 本県生乳生産量/経産牛頭数	III	
	枝肉重量 (kg: 1頭当り平均)	416	419	422	425		0.7% 若狭牛増体・肉質向上対策事業より	II	
計画の達成状況	[目標名] 年度整備水準 [] / 整備目標 年度 [] = []								

区 分	平成26年度予算額	事業開始後の見直し状況	特記事項
予算額 (単位: 千円)	7,738	平成19～20年度に交雑種の生産技術の確立事業を実施 平成21年度からは組織改正に伴い、乳牛の試験研究を奥越高原牧場で行うとともに畜産試験場の搾乳管理業務を廃止した。	平成25年度で飼料米(粳米)活用による若狭牛づくり事業終了
財源内訳			
国 庫			
その他特定財源			
一般財源	7,738		

[事業の評価]

所属の方針	[活動指標、成果指標に対する評価] 近年は猛暑の影響で乳牛の生産量が減少傾向にあるが、枝肉の重量は年々増加してきており、試験の成果が一定の役割を果たしていると言える。	評価に基づく今後の対応	<input type="checkbox"/> 拡 充	<input type="checkbox"/> 縮 減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し
	[今後の事業展開に関する考え方、見直し内容] 今後も計画的に試験研究を進め、現場への速やかな技術普及を進める。		<input checked="" type="checkbox"/> 継 続	<input type="checkbox"/> 休 止	<input type="checkbox"/> 完 了
			<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃 止	<input type="checkbox"/> そ の 他
			見直し額	千 円	

平成26年度事務事業カルテ

				会計区分 <input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計 () <input type="checkbox"/> 企業会計 ()		
事業名		養豚試験研究費	含まれる事業数	2	所属	農林水産部 生産振興課 畜産振興・家畜衛生G
福井新々元気宣言における位置付け <input type="checkbox"/> 有 →ビジョン [] <input checked="" type="checkbox"/> 無 政策 []					事業区分 <input type="checkbox"/> 国庫 <input checked="" type="checkbox"/> 県単 <input checked="" type="checkbox"/> その他	課 <input checked="" type="checkbox"/> 実行予算 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他
					事業開始年度 H4 年度 経過年数 23 年	事業終了予定年度 一年度 事務区分 <input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務

[事業目的]
 ふくいポークの銘柄化を推進するため、系統豚を利用した高能力種豚を供給するとともに、生産性向上技術を確立する。

[事業内容]
 ・高能力種豚の生産と農家への供給（平成4年度～）

(単位：千円)

区分	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	平均伸び率	目標値、指標の積算根拠等	結果分類
当初予算額の推移	7,987	12,422	11,656	10,415	10,952	11.0%		
2月現計予算額の推移	7,987	12,422	11,656	10,415	11,565	12.4%		
決算額の推移	7,951	12,422	11,625	9,946		11.8%		
事業効果 の推移	活動指標 高能力種豚の供給	70	82	52	54	△ 5.2%		IV
	成果指標 ふくいポーク出荷頭数	4,132	3,548	3,518	3,842	△ 1.9%	食肉流通体制確立推進事業より	III

計画の達成状況 [目標名] 年度整備水準 [] / 整備目標 年度 [] = []

区分	平成26年度予算額	事業開始後の見直し状況	特記事項
予算額 (単位：千円)	11,565	平成23年度より豚舎管理業務の外部委託を開始	本事業を廃止すると、ふくいポークの基礎となる種豚の供給ができなくなり、ふくいポークの生産ができなくなる。また、トレーサビリティの関係から、畜産試験場で生産し経歴が証明できる安全な種豚を供給することが重要となってきた。
財源内訳			
国庫			
その他特定財源	5,075		
一般財源	6,490		

[事業の評価]

所属の方針	[活動指標、成果指標に対する評価] ふくいポークの出荷頭数は減少傾向にあるが、高能力で健康な種豚を農家に安定的に供給することにより、養豚経営の維持・安定に寄与している。	評価に基づく今後の対応	<input type="checkbox"/> 拡 充	<input type="checkbox"/> 縮 減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し
	[今後の事業展開に関する考え方、見直し内容] 今後も計画的に試験研究を進め、現場への速やかな技術普及を進める。		<input checked="" type="checkbox"/> 継 続	<input type="checkbox"/> 休 止	<input type="checkbox"/> 完 了
			<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃 止	<input type="checkbox"/> そ の 他
			見直し額	千 円	

平成 26 年 度 事 務 事 業 カ ル テ

事業名 養鶏試験研究費		含まれる事業数 1	所 属 農林水産 部 生産振興 課 畜産振興・家畜衛生 G	会計区分 <input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計 () <input type="checkbox"/> 企業会計 ()
事業区分 福井新々元気宣言に おける位置付け	<input type="checkbox"/> 有 →ビジョン [] <input checked="" type="checkbox"/> 無 政 策 []		<input type="checkbox"/> 国 庫 <input checked="" type="checkbox"/> 県 単 <input type="checkbox"/> その他	<input checked="" type="checkbox"/> 実行予算 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他
			事業開始年度 H14 年度	事業終了 予定年度
			経過年数 13 年	一 年 度 事務区分
				<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務

[事業目的]
 採卵鶏に関する飼養技術や経済性を検討し、養鶏農家の指導指針とする。

[事業内容]
 ・機能性等特色ある鶏卵生産技術の確立事業 : DHA、EPAを含む魚油、抗酸化作用のある茶葉を給与した鶏卵の生産技術の確立 (平成18～19年度)
 ・地域飼料資源を活用した低コスト鶏卵生産技術の確立事業 : 規格外米や大麦やカニ殻などを利用した低コスト鶏卵の生産技術の確立 (平成20～21年度)
 ・越前がに等県産素材を活用した健康によい鶏卵生産技術の確立事業 : 健康維持に有益な成分を含んだカニ殻等を飼料に加えた健康によい鶏卵の生産技術の確立 (平成22～23年度)
 ・粃米配合飼料による鶏卵生産技術の確立事業 : 低コストで安心安全な県産飼料粃米を給与した鶏卵の生産技術の確立 (平成24～25年度)
 ・卵肉兼用種による新しい越前地鶏作出のための実証試験 : 生産費が安く県民の嗜好に合う新しい地鶏の作出 (平成26～28年度)

[予算額および指標の推移等] (単位：千円)

区 分	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	平均伸び率	目標値、指標の積算根拠等	結果分類
当初予算額の推移	1,325	866	779	750	778	△ 11.2%		
2月現計予算額の推移	1,325	866	779	750	778	△ 11.2%		
決算額の推移	1,310	866	777	750		△ 15.9%		
事業効果 の推移								
活動 指標	供試羽数	300	300	180	180	200	△ 7.2%	IV
成果 指標	生産実施農家数(機能性鶏卵の生産技術)	8	8	8	8		0.0%	II

計画の達成状況 [目標名] 年度整備水準 [] / 整備目標 年度 [] = []

区 分	平成26年度予算額	事業開始後の見直し状況	特 記 事 項
予 算 額 (単位：千円)	778		本事業は、調査・試験・研究を進める事業であり目標の設定は困難である。
財源内訳			
国 庫			
その他特定財源			
一 般 財 源	778		

[事業の評価]

所属の 方針	[活動指標、成果指標に対する評価] 卵肉兼用種を利用した地鶏の候補を作出し、県産飼料米給与技術を活用した産卵および肥育試験を実施している。	評価に基 づく今後 の 対 応	<input type="checkbox"/> 拡 充	<input type="checkbox"/> 縮 減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し
	[今後の事業展開に関する考え方、見直し内容] 今後も計画的に試験研究を進め、現場への速やかな技術普及を進める。		<input checked="" type="checkbox"/> 継 続	<input type="checkbox"/> 休 止	<input type="checkbox"/> 完 了
			<input type="checkbox"/> 整 理 統 合	<input type="checkbox"/> 廃 止	<input type="checkbox"/> そ の 他
			見 直 し 額	千 円	

平成26年度事務事業評価結果(課・室)総括表

会計区分 就農支援資金貸付金特別会計

課・室名 生産振興課 (単位:千円)

事業名	福井新々元気宣言 における位置付け	事業区分		事業 開始年度	経過 年数	同一 カテゴリー に含まれる 事業数	事務区分		平成 26年度 予算額	財源内訳			活動指標1結果分類				活動指標2結果分類				成果指標1結果分類				成果指標2結果分類				評価に基づく今後の対応														
		実行 予算	補助 金 その他				自治 事務	法定 受託 事務		国庫	その他 特定 財源	一般	I	II	III	IV	I	II	III	IV	I	II	III	IV	I	II	III	IV	拡 充	継 続	整 理 統 合	縮 減	休 止	廃 止	終 期 の 見 直 し	完 了	そ の 他	見 直 し 額					
就農支援資金貸付金		○		H7	20	1	○		14,017		14,017			○																				○		△ 14,017							
1		1	0	0			1	1	0	14,017	0	14,017	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	△ 14,017

平成26年度事務事業カルテ

				所 属		農林水産 部		生産振興 課		農業資金 G		
				事 業 区 分	<input type="checkbox"/> 国 庫	<input checked="" type="checkbox"/> 実行予算	事 業 開 始 年 度	H7 年度	事 業 終 了 予 定 年 度	H26 年度	事 務 区 分	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計
					<input type="checkbox"/> 県 単	<input type="checkbox"/> 補助金		経過年数				<input type="checkbox"/> 特別会計 (就農支援資金貸付金)
				<input checked="" type="checkbox"/> その他	<input type="checkbox"/> その他	20 年					<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務	<input type="checkbox"/> 法定受託事務
<p>会計区分</p> <p>■ 一般会計 □ 特別会計 (就農支援資金貸付金) □ 企業会計 ()</p>												
事業名		就農支援資金貸付金		含まれる事業数		1						
福井新々元気宣言における位置付け		<input type="checkbox"/> 有 →ビジョン [] <input checked="" type="checkbox"/> 無 政策 []										
[事業目的]												
貸付および償還等の資金事務の適正かつ円滑な実施を図る。												
[事業内容]												
(1) 国への貸付財源の償還												
[予算額および指標の推移等] (単位：千円)												
区 分	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	平均伸び率	目標値、指標の積算根拠等	結果分類				
当初予算額の推移	8,295	10,608	11,317	12,477	14,017	14.3%						
2月現計予算額の推移	8,292	10,608	11,317	12,477	14,017	14.3%						
決算額の推移	8,292	10,608	11,317	12,477		15.0%						
事業効果 指標 の推移												
活動指標 貸付残高	170,986	165,506	154,189	153,712	139,695	△4.9%		III				
成果指標 国への償還実績	5,472	7,406	7,550	8,862	9,216	14.7%		I				
指標 貸倒実績	0	0	0	0	0	0.0%		II				
計画の達成状況 [目標名] 年度整備水準 [] / 整備目標 年度 [] = []												
[事業の評価]												
区 分	平成26年度予算額	事業開始後の見直し状況	特記事項									
予 算 額 (単位：千円)	14,017		平成23年度でシステムの開発が完了し、国への貸付財源の償還事業のみとなった。									
財源内訳												
国 庫												
その他特定財源	14,017											
一 般 財 源												
所属の方針	<p>[活動指標、成果指標に対する評価]</p> <p>新規就農者に対する資金の貸付業務については、計画の認定業務が県から市町に移管され、資金の貸付業務が日本政策金融公庫へ移管される等の制度見直しが行われた。</p> <p>[今後の事業展開に関する考え方、見直し内容]</p> <p>制度趣旨を踏まえ迅速、適正かつ円滑に資金の貸付および償還を行うことは制度資金の運営を行う上で不可欠であるが、貸付業務が公庫へ移管されたことに伴い、平成27年度より償還業務については一般会計で行っていく。</p>			<p>評価に基づく今後の対応</p> <p><input type="checkbox"/> 拡 充 <input type="checkbox"/> 縮 減 <input type="checkbox"/> 終期の見直し</p> <p><input type="checkbox"/> 継 続 <input type="checkbox"/> 休 止 <input checked="" type="checkbox"/> 完 了</p> <p><input type="checkbox"/> 整理統合 <input type="checkbox"/> 廃 止 <input type="checkbox"/> そ の 他</p> <p>見 直 し 額 △ 14,017 千 円</p>								